

## 第4回藤沢市総合計画審議会

と き 2009年（平成21年）11月23日（月）  
午前10時～正午  
ところ 藤沢市総合防災センター6階第1会議室

### 次 第

#### 1 開会

#### 2 議事録確認

#### 3 議事

(1) 地域経営戦略100人委員会の経過報告

(2) 市民電子会議室の経過報告

(3) 起草部会報告

新総合計画基本構想（第一次素案）原案について

－ 討議 －

(4) 地域経営戦略100人委員会との合同協議について

#### 4 その他

書記（事務局）  
藤沢市経営企画部経営企画課  
電 話 (0466) 50-3502  
ファクス (0466) 50-8402  
e-mail kikaku@city.fujisawa.kanagawa.jp

# 地域経営戦略100人委員会（Team238）活動計画

## ～ 基本計画編 ～

- |                      |                      |        |
|----------------------|----------------------|--------|
| 1. 基本計画とは            |                      | — P.02 |
| 2. 基本計画づくりの流れ【集める】   | “気づき”の収集と深掘り（11月-2月） | — P.05 |
| 3. 基本計画づくりの流れ【読み解く】  | 「ふじさわ未来課題」の設定（2月-3月） | — P.12 |
| 4. 基本計画づくりの流れ【メリハリ】  | 「注目・ふじさわ未来課題」の調査（4月） | — P.16 |
| 5. 基本計画づくりの流れ【指標づくり】 | 「まちづくり指標」の設定（5-6月）   | — P.20 |
| 6. 基本計画づくりの流れ【まとめる】  | 「地域まちづくり計画」として記述（7月） | — P.24 |

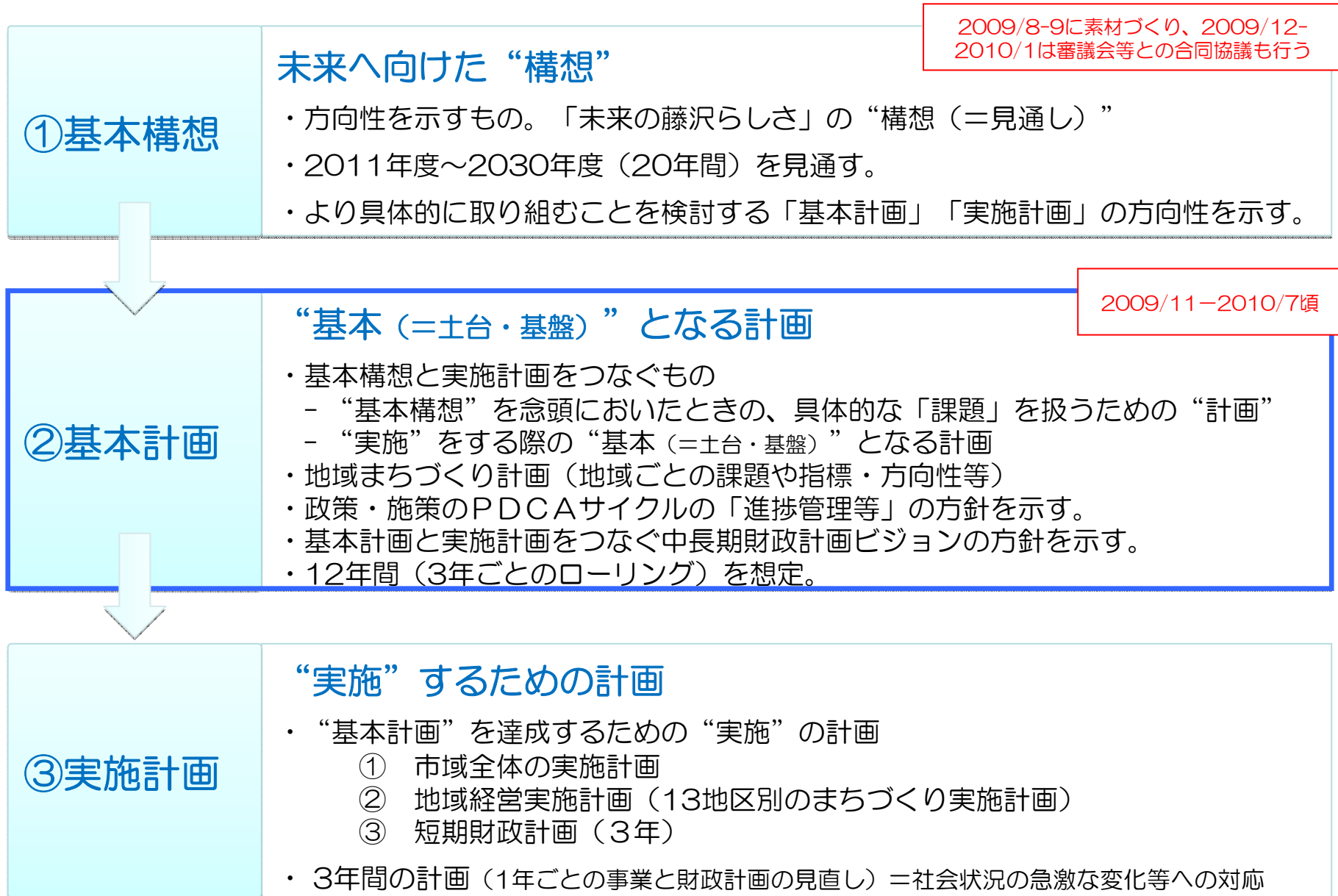
平成21年11月23日



---

# 1. 基本計画とは

- 1-1. 新総合計画の構造 — P.03
- 1-2. 基本計画の役割 — P.04



### 基本計画の役割：“基本（＝土台・基盤）”となる計画

- ・基本構想と実施計画をつなぐもの
  - “基本構想”を念頭においたときの、具体的な「課題」を扱うための“計画”
  - “実施”をする際の“基本（＝土台・基盤）”となる計画
- ・地域まちづくり計画（地域ごとの課題や指標・方向性等）
- ・政策・施策のPDCAサイクルの「進捗管理等」の方針を示す。
- ・基本計画と実施計画をつなぐ中長期財政計画ビジョンの方針を示す。
- ・12年間（3年ごとのローリング）を想定。

### ポイント

- ★ 未来像を実現するための「課題（＝改善すること&伸ばすこと）」を様々な立場から徹底的に洗い出す
- ★ 政策・施策の重点化と目標の設定のためにメリハリある形で整理する
- ★ 「課題」の現状を評価できるようにする（＝指標づくりを行う）
  - ⇒ 計画（Plan）は、実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）→計画→…の持続的なサイクルにつなげるもの。基本計画の段階から評価と改善ができるように設計する。
  - ⇒ 「指標づくり」＝共通の目標を持つことで、様々な主体が地域協働で評価できるようにする。
- ★ 各地域の特徴を反映した「地域まちづくり計画」を位置づける
  - ⇒ 地域ごとにも「課題」や「指標」の特徴を検討する
- ★ 政策・施策のPDCAサイクルの「進捗管理」システムを位置づける。
- ★ 基本計画と実施計画の関連性をはかるための、中長期財政計画ビジョンを位置づける。

---

## 2. 基本計画づくりの流れ【集める】

～“気づき”の収集と深掘り（11月-2月）～

- 2-1. ① “気づき”の収集 — P.06
- 2-2. ② “気づき”の深掘り — P.07

### ◆ 目的

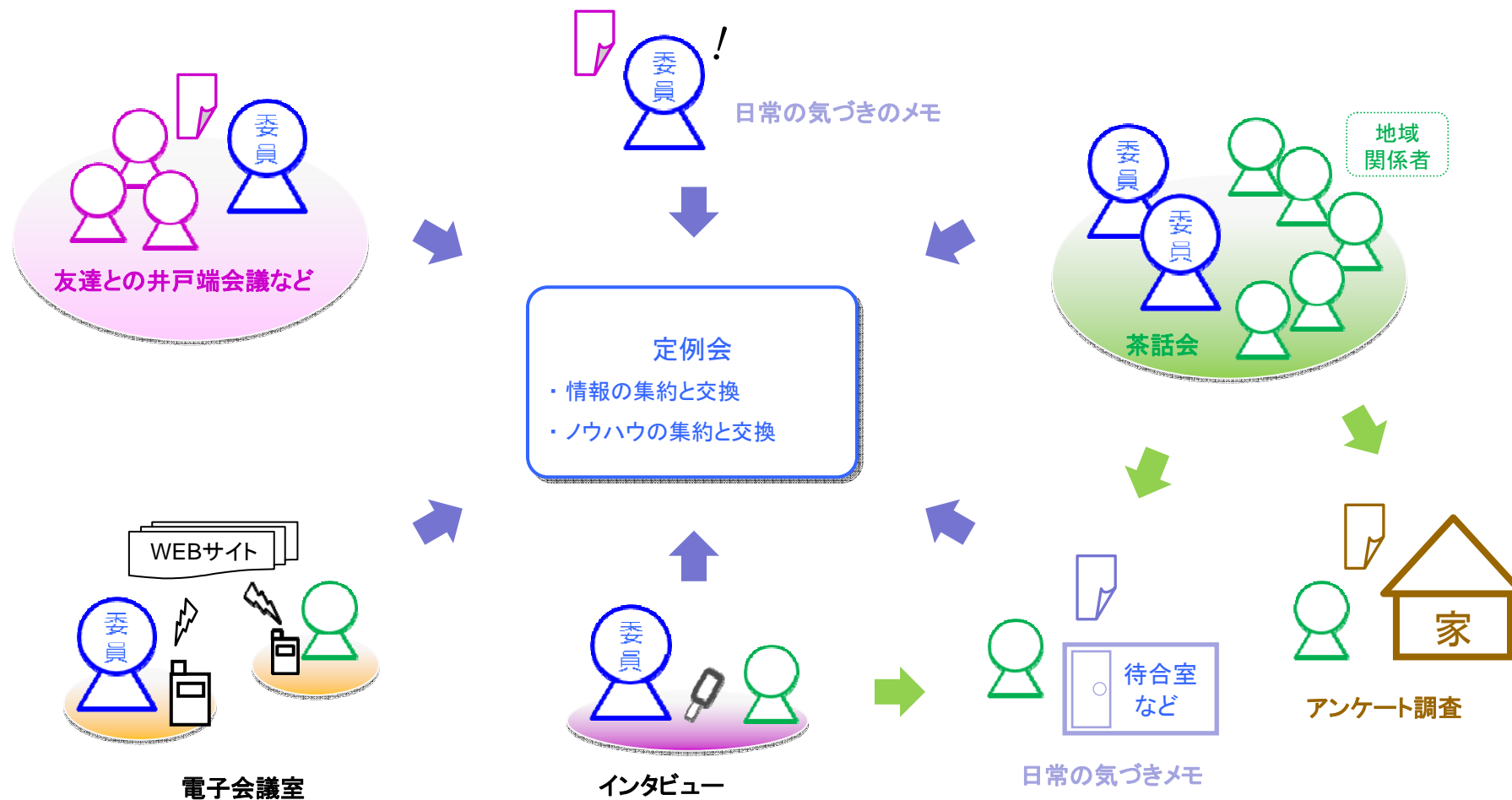
“気づき（＝生活実感や活動実感）”について、藤沢市民の皆さんの  
実感を丹念に洗い出し、実態を捉える

### ◆ 方法

地区ごと・活動領域ごとに、誰に・どのようにして“気づき”を聞くか  
を検討し、実施する。

例)

- ・ 共通の調査票を町内会などで配布して書いてもらう
- ・ 書いてもらいたい方を検討して、お願いをする
- ・ これまでに行ってきた調査などを再度確認して、調査票に書き出す
- ・ 市民委員が日常的に持っていて、気づいたとき、対話したときに書き留めておく
- ・ 似たような経験を持っている人にあつまってもらい、調査票の内容に従って、話し合ってもらう  
（記録を簡条書きで作成）
- ・ ポストイットを使って話しあう日を設定して、集まってもらう など





### ◆目的

委員自身による“気づき”や、地区で調べたことなどを深掘りし、実態をより深く理解する、解きほぐす。

※ すべての“気づき”に対してではなく、いくつかを抽出して実施。

### ◆方法

地区ごと・活動領域ごとに、誰とどのようにして深掘りをするかを検討し、実施する。

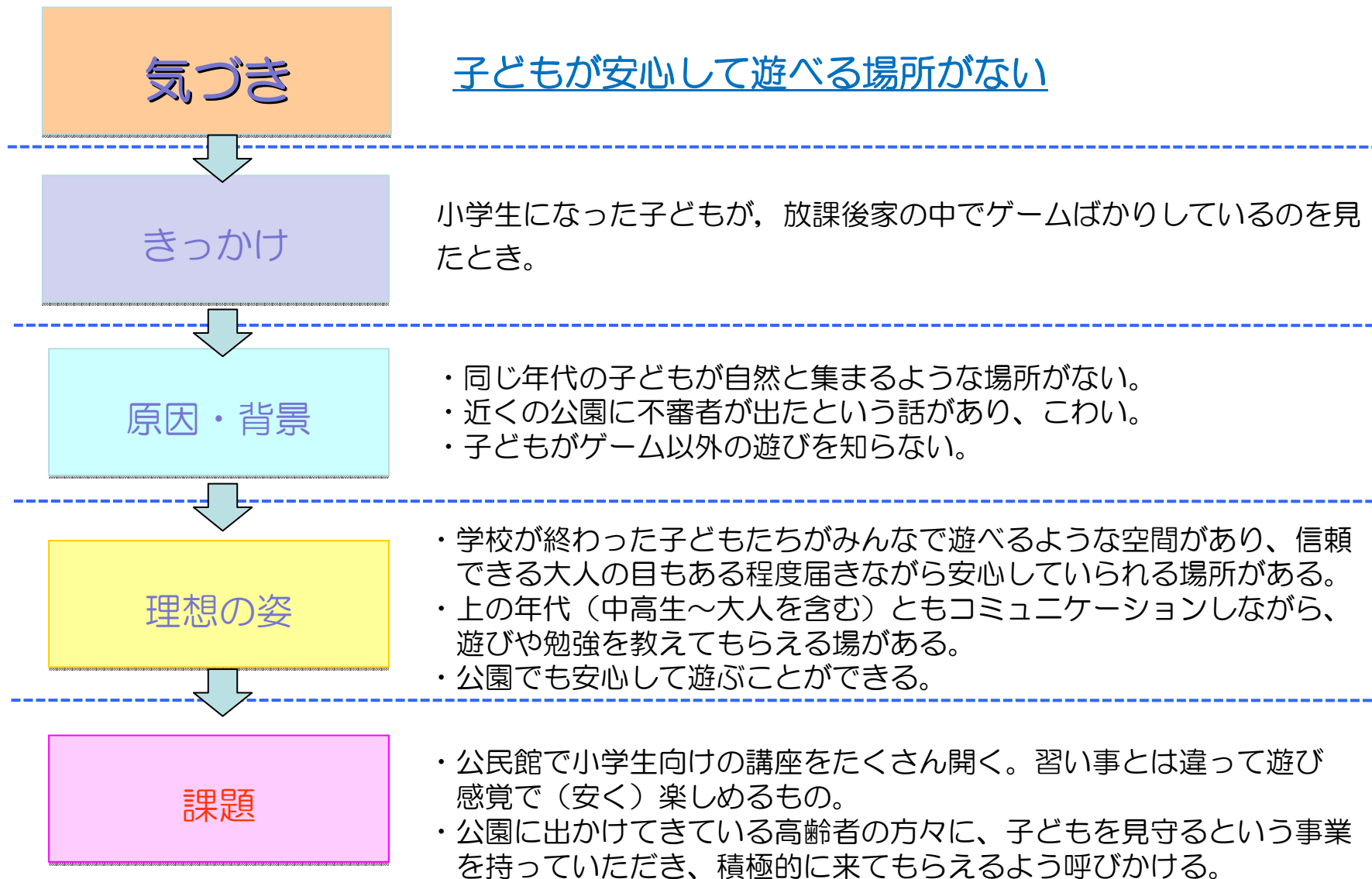
例)

- ・ 「気づきの深掘りシート」をもって、様々な方と話し合っ、書き出す
- ・ 委員が日常で気になったこと・聞いたことを深掘りする
- ・ 地区や領域で集まり、話し合いながら深掘りシートを作成する
- ・ 深掘りをしていただくと、示唆が得られそうな方をお願いして、何枚か記述してもらう など

◆ 課題とは？

- ・ 課題とは、将来像や目標に向かう際に、追求・行動すべきことです。
- ・ それは、①現状をカイゼンするもの、②現状の良さ・魅力を伸ばすものの2種類あります。
- ・ 現状（気づき）から、原因や背景を分析（深掘り）し、課題を導き出すことを丹念に行っておくことで、根拠だった計画策定や、活動・事業の実施を円滑に進めることができます。





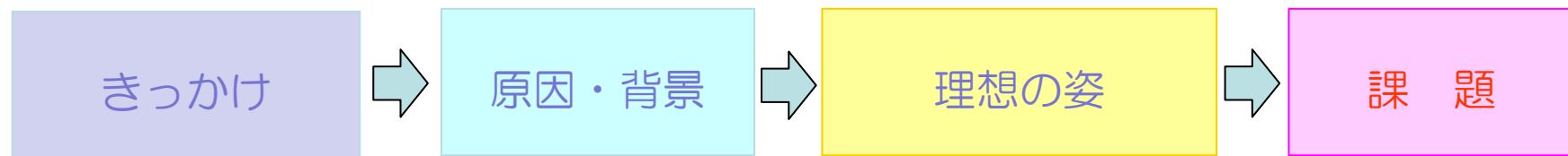
## 気づき

### まず“気づき”を設定して...

- ① まず、一人ひとりでふせんに思ったことを書き記します。
- ② 発表をしながら模造紙に貼ってください。〔ほかの方はコメントせず、聞いてください。〕
- ③ 似たものをグループにして、ひとつにまとめてください。〔グループは複数できて良い。〕

これを「きっかけ」から順番に行います。

今回は時間も限られていますので、「原因・背景」「理想の姿」「課題」の段階では、それぞれ、前の段階のものから1つ選んで検討してください。



---

### 3. 基本計画づくりの流れ【読み解く】

～ 「ふじさわ未来課題」の設定（2月-3月）～

3-1. ③“気づき”の整理・分析・集約 — P.09

### ◆ 目的

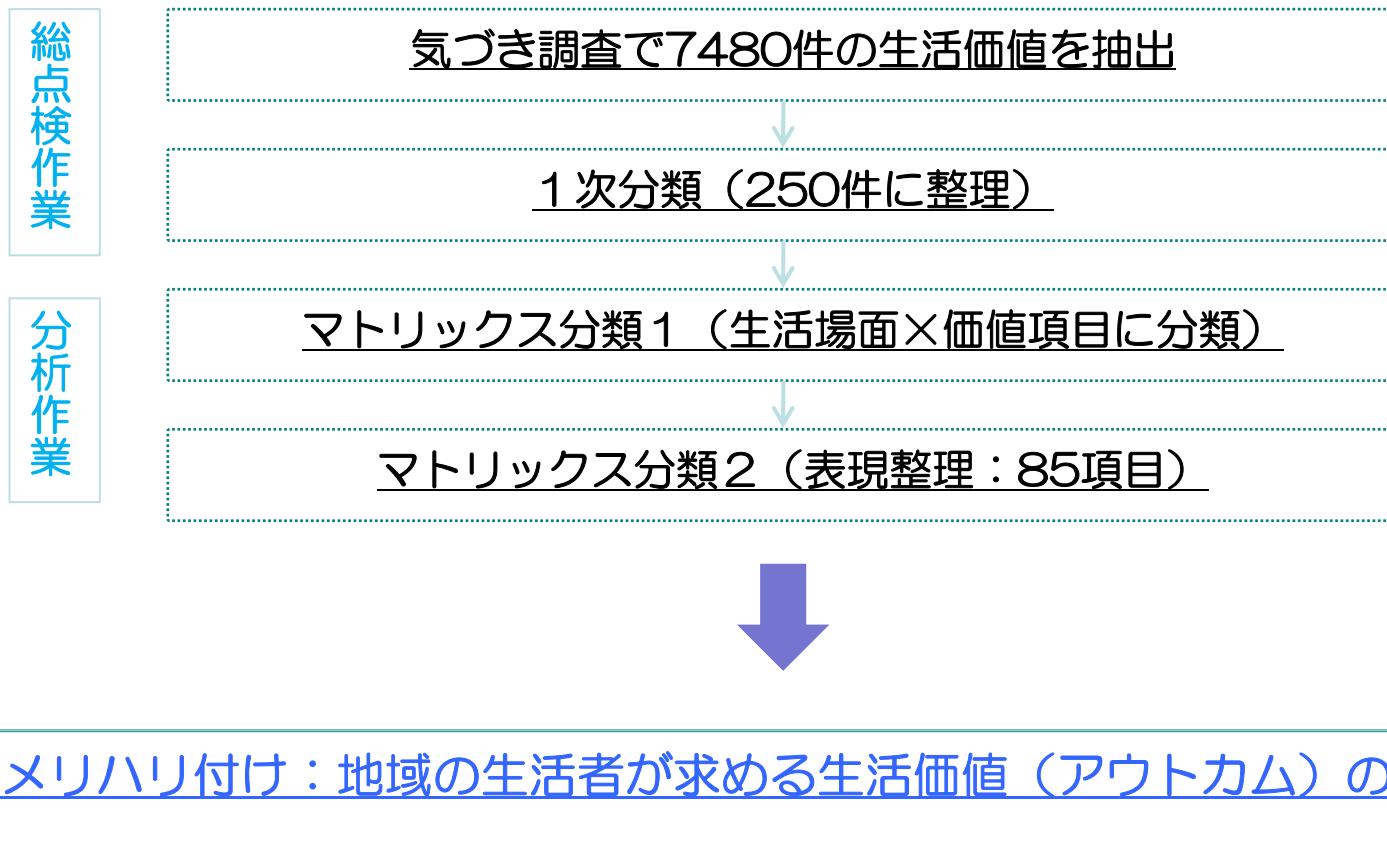
幅広く丹念に集めた“気づき”や、深掘りした“気づき”について、整理・分析をし、共有しやすいように集約する

※ 課題とは「カイゼンすること」と「良さを伸ばすこと」の両方の意味をもつ。  
地域として実現したいこと(アウトカム)である。

### ◆ 方法

1. 類似発言・共通発言の集約
2. “気づき”の論理構造（ロジック）を検討した上で、「ふじさわ未来課題」として集約
3. それぞれの「課題」がどういった発言と結びついているのかを残して集約
4. 「マス目（マトリックス）」に整理

市民委員と慶應義塾大学が協働で各種の調査活動・分析活動を推進



(参考) 青森市 生活者が指摘する「まちなかの“生活価値”」85項目 15

	安心だ	楽しい	お手頃・気軽・楽ちんだ	つながり	ためになる・役に立つ
買う	1)思い立ったとき買い物に出かけやすい 2)安全で質のよいものを選べる・買える 3)ギフトも、お総菜も、お土産も買える 4)通いなれたまち、なじみのお店で買える	1)いろいろなお店や品物と出会える 2)新しい流行、ファッションがわかる 3)なじみのお店で楽しく買い物できる	1)「ついで買い」がしやすい(散歩しながらなど) 2)「とっさ買い」がしやすい(夕食前も後、会合の前後、仕事帰りなど) 3)「ちょっと買い」や「出来合いもの買い」がしやすい	1)なじみのお店がある・融通が利く 2)おまけやスタンプ、いろいろなサービスをしてもらえる 3)お店で会話を楽しみ時間をつぶせる 4)子どもといっしょに買い物ができる	1)よいもの、新しいもの、珍しいものなどが買える 2)品物やサービスに詳しくなれる 3)新しい店、変わった店、きれいな店が見つかる
食べる	5)一人でも大勢でも子連れでも食事ができる 6)地域の豊かな山海の幸を食べられる 7)安全で質の良い食材を食べられる	4)食べ歩きを楽しめる 5)友だちや家族とくつろいで食事を楽しめる 6)おしゃれな会食が楽しめる 7)和洋中いろいろな食事を楽しめる	4)出前や会食、屋台やファストフード、いろいろな形で食事できる 5)料理や値段の幅が広く、お手頃なものがある 6)季節感やおしゃれさ、気分に合わせて食事ができる	5)なじみの店で食事ができる 6)友だちや家族といっしょにくつろいで食事ができる 7)郷土食や地域の食材を使った食事ができる	4)レストランから手軽な屋台まで、目的や時間にあわせて食事ができる 5)高級・B級、予算にあわせていろいろなメニューを楽しめる 6)にぎやか、しんみり、おしゃれ、気分にあわせて食事ができる
遊ぶ	8)子どもが元気に遊べる場所があること 9)夏でも冬でも、朝でも夜でも遊べる 10)屋内でも屋外でも遊べる 11)まちの緑や海を楽しみながら遊べる	8)いろいろな楽しみ、遊びができる(映画もネットカフェもつりもヨットも) 9)いつでも、四季折々に楽しみがある(ねぶたも雪祭りも) 10)いろいろな友人と趣味や遊びを楽しめる	7)ふだん、お気軽に時間をつぶしてられる 8)お祭りやイベントに足を運びやすい 9)一人でも、友だちや家族といっしょでも楽しめる	8)趣味や同好の仲間を作りやすい 9)身近な地域の祭りやイベントがある 10)いろいろな世代の人が集まってくる 11)子どもたちの遊ぶ声や姿がある	7)趣味を始めたり同好の集いを開きやすい 8)ねぶたなどを毎日楽しみ自慢できる 9)映画やイベント・コンサートを楽しめる
学ぶ	12)先生や親の目がゆき届いている 13)まちの人が子どもに気軽に声をかけてくれる 14)教育・文化の施設に行き来しやすい	11)図書館で静かに知的に楽しめる 12)同じ目的で学ぶ人と出会える 13)青森をよく知る機会が多い	10)図書館など文化施設や教養講座に行きやすい 11)気軽に読書してられる(図書館も喫茶店も) 12)遊んだり楽しみながら学びやすい	12)子どもも大人もいっしょに学んだりお稽古をしやすい 13)ふだんからまちの文化に触れられる 14)図書館や学校が近くて集まりやすい	10)学校、進学塾、図書館など学ぶ環境が充実している 11)趣味や専門の勉強を続けやすい 12)流行やファッションを知りやすい 13)歴史や文化、アートに親しみやすい
住む	15)ご近所の底力がある(商店街や町会) 16)病院や働く場所が近くて安心できる 17)冬の暮らしの負担(雪かき)が小さい 18)何かのとき近くの誰かに相談しやすい	14)青森らしい祭りやイベントが近くにある 15)身近な風景に青森らしさがある 16)子どもたちや若者とふれあえる 17)冬も歩きやすく、暮らしを楽しめる	13)バス・電車にも、自転車にも乗りやすい 14)歩く範囲でたいがいの用が足せる 15)近くに病院や働く場所がある 16)天候や季節をあまり気にしなくていい	15)まちの人が優しく、地域を好きな人が多い 16)いろいろな世代や地域の人と知りあい交流できる 17)他人とほどよいふれあいができる	14)新しい発見や驚きがある 15)いろいろな気分転換ができる 16)自然、季節を感じながら暮らせる 17)住みたい、住み続けたいと思える



---

## 4. 基本計画づくりの流れ【メリハリ】

～ 「注目・ふじさわ未来課題」の調査（4月）～

4-1. ④ 「ふじさわ未来課題」のメリハリ調査（市民アンケート） — P.14

### ◆目的

アンケート調査を通じて、「ふじさわ未来課題」を重み付けするすべての「課題」について、同時に対応するのは困難であるため、まず注目すべき「課題」を抽出する

### ◆方法

#### ■調査内容

市民や実践活動を行っている方などに配布するアンケート調査を通じて、各「課題」についての「実現度（または、満足度）」と「重視度（大切さ）」を把握する

#### ■対象者

市民全般：3000名程度（無作為抽出。13地区ごと・世代ごとなど）

実践活動に携わっている方：100人委員会・地域経営会議・市役所で推薦・依頼  
地域経営会議の関係者などにも依頼

市役所職員：藤沢市役所で実務に携わっている観点での回答を依頼

#### ■分析方法

「実現度」と「重視度」の2つの数字の傾向から、各課題を重み付けする  
13地区ごとに「注目課題」を分析・全市的な「注目課題」の傾向を確認  
対象者による傾向の違いを確認

## 【定 義】

『魅力度』 = 「満足 (回答選択肢の “やや満足” と “満足” の和)」 × 重要選択率

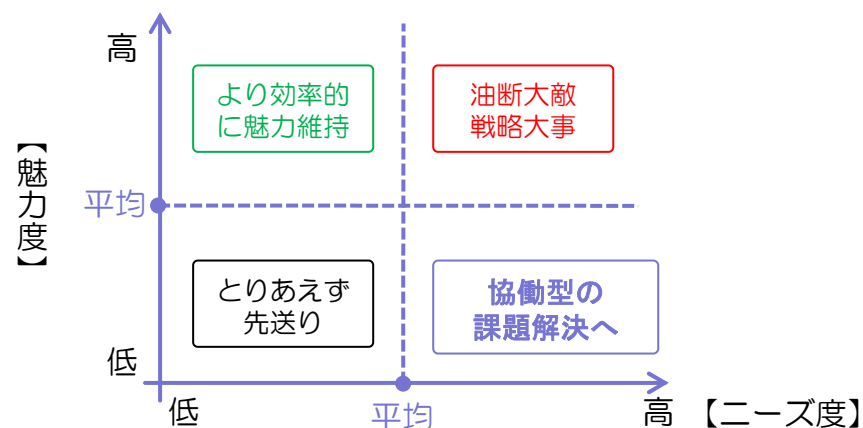
『ニーズ度』 = 「不満 (回答選択肢の “やや不満” と “不満” の和)」 × 重要選択率

## 【分析対象】

- A) 全体 … まちなか居住誘導エリア内の住民
- B) 仕事層 … 50代以下で1~2人暮らし
- C) 子育て層 … 20代~40代で3人以上暮らし
- D) 高齢層 … 60代以上
- E) 既存暮らし方層 … 従来のライフスタイルの住民
- F) 新暮らし方層 … マンション住まいの新しい暮らし方の住民

## 【抽出方法】

生活価値の各項目の魅力度・ニーズ度で分類 (安心、楽しい…) ごとの平均以上の項目を抽出



(参考) 重みづけされた生活価値 (A. 全体、全42項目)

	安心だ	楽しい	お手頃・気軽・楽ちんだ	つながり	ためになる・役に立つ
買う	1)思い立ったとき買い物に出かけやすい	1)いろいろなお店や品物と出会える	1)「ついで買い」がしやすい(散歩しながらなど) 2)「とっさ買い」がしやすい(夕食前も後も、会合の前後、仕事帰りなど)	1)なじみのお店がある・融通が利く	1)よいもの、新しいもの、珍しいものなどが買える 2)品物やサービスに詳しくなれる
食べる	6)地域の豊かな山海の幸を食べられる 7)安全で質の良い食材を食べられる			5)なじみの店で食事ができる 6)友だちや家族といっしょにくるいで食事ができる 7)郷土食や地域の食材を使った食事ができる	4)レストランから手軽な屋台まで、目的や時間にあわせて食事ができる 5)高級・B級、予算にあわせていろいろなメニューを楽しめる 6)にぎやか、しんみり、おしゃれ、気分にあわせて食事ができる
遊ぶ	8)子どもが元気に遊べる場所があること	8)いろいろな楽しみ、遊びができる(映画もネットカフェもつりもヨットも) 9)いつでも、四季折々に楽しみがある(ねぶたも雪祭りも)	8)お祭りやイベントに足を運びやすい	9)身近な地域の祭りやイベントがある 11)子どもたちの遊ぶ声や姿がある	7)趣味を始めたり同好の集いを開きやすい 8)ねぶたなどを毎日楽しみ自慢できる 9)映画やイベント・コンサートを楽しめる
学ぶ	14)教育・文化の施設に行き来しやすい	11)図書館で静かに知的に楽しめる	10)図書館など文化施設や教養講座に行きやすい	14)図書館や学校が近くて集まりやすい	10)学校、進学塾、図書館など学ぶ環境が充実している
住む	16)病院や働く場所が近くて安心できる 17)冬の暮らしの負担(雪かき)が小さい	14)青森らしい祭りやイベントが近くである 15)身近な風景に青森らしさがある 17)冬も歩きやすく、暮らしを楽しめる	13)バス・電車にも、自転車にも乗りやすい 14)歩く範囲でたいがいの用が足せる 15)近くに病院や働く場所がある 16)天候や季節をあまり気にしなくていい	16)いろいろな世代や地域の人と知りあい交流できる 17)他人とほどよいふれあいができる	16)自然、季節を感じながら暮らせる 17)住みたい、住み続けたいと思える

※ 赤字・・・魅力度・ニーズ度が共に平均以上(17)、緑字・・・魅力度のみ平均以上(13)、青字・・・ニーズ度のみ平均以上(12)

---

## 5. 基本計画づくりの流れ【指標づくり】

～ 「まちづくり指標」の設定（5-6月）～

- 5-1. ⑤「まちづくり指標」の検討と設定 — P.18
- 5-2. ⑥「まちづくり指標」の現状値調査 — P.19
- 5-3. ⑦「めざそう値」「役割期待値」の調査 — P.20

◆ 目的

各「課題」を「指標」にすることで、課題の現状を評価できるようにする  
協働で改善に取り組む指標として設定する

◆ 方法

検討ワークシートを用いて話し合う

※「② “気づき” の深掘り」「③ “気づき” の整理・分析・集約」で作成した  
“気づき” の論理構造などを参考にすることで、検討が行いやすくなる

### ◆ 目的

「課題」を指標にした「まちづくり指標」の現状の値を確認することで、置かれている現状を把握する

### ◆ 方法

既存の統計データや、市民アンケート調査、新たなデータ収集等で指標の現状を把握する

### ◆ 目的

- ・ 藤沢市で活動している実感として、「まちづくり指標」の値がどこまで改善したら、藤沢市や各地区が良くなったといえると思うかを調査する。
- ・ その値を集約することで、関係者や実務家がどのように考えているかを、お互いに共有し、共通の目標として設定する。
- ・ 実際に改善するには、誰の役割が期待されると思うかについても調査し、共有する。

### ◆ 方法

#### ■ 調査内容

- ・ 藤沢市で活動している実感から、「まちづくり指標」について数年後に実現して欲しい値（めざそう値）、誰が改善の役割を担っていると思うか（役割期待値）をお聞きする。
- ・ 「めざそう値」は、現状値の傾向などを参考に回答。
- ・ 「役割期待値」は、自助・共助・公助などの観点について、5段階で回答。加えて、具体的にどのような役割が期待されるかについて、記述してもらう。

#### ■ 対象者

- ・ 各「課題」に携わっている方
- ・ 100人委員会委員、地域経営会議の関係者
- ・ 市役所職員

#### ■ 分析方法

- ・ めざそう値は、平均値（または中央値）を算出。
- ・ 13地区ごとのデータ、全市のデータ、対象者による違いなどを併記して情報提供をする。



---

## 6. 基本計画づくりの流れ【まとめる】

～ 「地域まちづくり計画」として記述（7月）～

6-1. ⑧「基本計画書」を記述

— P.22

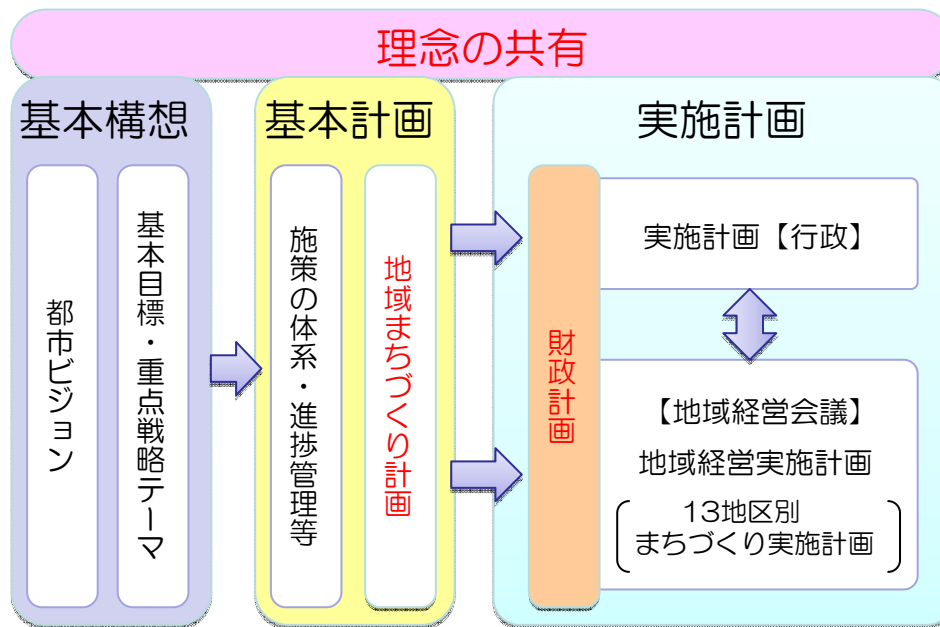
◆ 目的

(次の段階で) 実施計画を策定する際の基本情報として活用

◆ 方法

- ・ 「ふじさわ未来課題」「まちづくり指標」などの現状や傾向について解説。
- ・ 各地区ごとの考え方などを整理し、実施計画（13地区別まちづくり実施計画）に繋げる

「ふじさわ未来課題」の実現を目指して、具体的に“実施”をするための計画を策定する



- (1) 市域全体の実施計画
- (2) 地域経営実施計画  
(13地区別のまちづくり実施計画)
- (3) 短期財政計画 (3年)



何を実施すると良いかを、地区ごとに戦略的に検討する。その結果は「まちづくり指標」で評価しながら、進めていく

## 市民電子会議室での「藤沢らしさ」の発言について

市民電子会議室で開催されている「未来地図を描こう！新しい総合計画に向けて」において発言された内容は次のとおりです。公開情報ではありますが、氏名については削除して掲載しています。

## 1 会議室名

「未来地図を描こう！新しい総合計画に向けて」（市役所エリア）

## 2 会議室の概要

2011年にスタートする藤沢市新総合計画について幅広く意見交換をするための会議室です。今回は、「藤沢らしさ」をテーマに、10月13日から（集中討議は、10月26日から）11月13日までご意見をいただきました。

## 3 参加状況等

## (1) 会議室参加者数

177名

## (2) 発言総数

93件

## (3) 総アクセス数

1,618件（ページビュー）

## 4 発言の詳細

別紙のとおり

## 5 「藤沢らしさ」から導かれた主な発言内容

## (1) 観光

交通アクセスの利便性を活かし、観光資源としての江の島、湘南海岸を基盤とした、オフシーズンを含めた通年リゾートとしての再構築

## (2) レジャー

生活と都市を結びつける娯楽（施設）

## (3) 環境

多様な自然環境と市民発意の景観等環境形成、都市機能と自然とのバランス

## (4) 混在

歴史・文化、認識・価値観、属性等の混在と共生

(5) 産業

市内産業（企業）の育成

(6) 安全・安心

環境面での安全・安心と持続可能な都市の構築

(7) その他

市民，企業，行政の持つアイデア，ノウハウの活用とそのためのコミュニティ  
形成

## 市民電子会議室における「藤沢らしさ」に係る全発言

期間：2009年10月13日～11月13日

=====  
表題：[mirai2011:1]「未来地図会議室」オープンです！

日時：2009/10/13(火) 13:15:24

市民電子会議室にご参加のみなさまへ

この度、藤沢市市民電子会議室では、現在策定作業を行っている藤沢市の新しい総合計画に関する会議室「(市)未来地図を描こう！新しい総合計画に向けて」(略称：未来地図会議室)を設置、本日オープンする運びとなりました。

「総合計画」というと、なんだか堅苦しく感じますが、藤沢を生活の場とするわたしたちにとって今後の藤沢のみらいの青写真を描く、大切な計画だと考えております。

インターネットの特徴を生かして、わかりやすく・開かれた前向きな未来志向の議論を進めていければと考えておりますのでみなさまにも、是非積極的にご参加いただければ幸いです。

それでは、新会議室「(市)未来地図を描こう！新しい総合計画に向けて」を、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

-----  
表題：[mirai2011:2]〈進行〉「未来地図会議室」オープンです！

日時：2009/10/13(火) 13:40:18

皆さん、はじめまして。

「(市)未来地図を描こう！新しい総合計画に向けて」会議室の進行役を務めます。宜しく申し上げます。

先月末市民祭りが行われ、市民電子会議室も出展して、小さなお子様達とバランスとんぼを作り、一緒に来られた方々に「あなたの思う藤沢らしさは？」、「30年後にあつたらいい藤沢らしさは？」を問いかけました。

答えのトップは、「藤沢らしい」では「海」「30年後の藤沢らしさ」では「自然・緑」というキーワードでした。皆さんのイメージと合いますか？それとも別なイメージをお持ちでしょうか？

さて、藤沢の未来を決める計画づくりが始まりました。市の担当部門の方々はもちろんのこと、地域から推薦で選ばれた市民の方々、公募で選ばれた市民の方々も参加して「藤沢らしさ」、「30年後の藤沢らしさ」のイメージづくりから作業が始まっています。

並行してこの会議室では、計画づくりに参加されていない市民の方々の声を広く吸い上げて、もちろん参加されている方々も大丈夫ですよ、その声を夢のある住みやすい藤沢の街づくり計画に反映できるよう進めていけたらいいな～と思っています。

「こんなこと発言したら変じゃない？」なんて思わないで、思いついたら気楽に発言してください。

★藤沢の未来を描く街づくりに参加してみませんか！

★近所の方々にも声をかけて、一緒に参加してみませんか！

少し長くなりました。試行錯誤があるかもしれませんが、宜しくお願いします。

---

表題：[mirai2011:3]<進行> Re：「未来地図会議室」オープンです！

日時：2009/10/13(火) 16:16:18

未来地図会議室の進行役の一人です。よろしくお願いします。

はじめに、概要と当座のスケジュールをお示ししておきます。

<開設期間>

2009年10月13日～2010年7月頃まで

<主な目的>

- 1) 新しい総合計画の策定作業に関する市民の情報共有
- 2) 藤沢の将来像を描く総合計画の内容についての意見交換  
→とりまとめて総合計画審議会へ提出

<構成>

期間中を通じて、目的1にあるような、策定作業の情報共有を行っていきます。情報共有にあたっては、策定作業に関わっている市民委員等のみなさんにも、参加していただけるよう、呼びかけていきます。また、目的2のために、集中的に意見交換をする期間を設けます。(基本的に、総合計画審議会の開催日程に合わせて設定します。)

第1回の集中意見交換期間は、10月26日(月)～11月13日(金)です。

テーマは、現在・未来の藤沢らしさについてや、藤沢の将来像に向けた課題(未来課題)についてが中心となります。また、近くなりましたらアナウンスします。

まずは、新しい総合計画を作ろうということで、今、どんな人がどんな形で動いているのか、どんなことを話し合っているのか、少しずつ紹介していきます。

情報提供にあたっては、市の経営企画課の方にも協力をいただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

---

表題：[mirai2011:6]この会議室自体についての質問

日時：2009/10/16(金) 22:30:25

新総合計画について、この件についての委員でない市民も意見が言えるのは市民電子会議室の良いところです。発言2によりますと、「こんなこと発言したら変じゃない？」なんて思わないで、思いついたら気楽に発言してください。という事をおっしゃって頂いてますので、お言葉に甘えまして、言いにくい事ですが、気になった質問を最初にさせて頂きたいと思います。

発言3によりますと、

><主な目的>

- >2) 藤沢の将来像を描く総合計画の内容についての意見交換

> →とりまとめて総合計画審議会へ提出

という事なのですが、この「とりまとめる」権限と責任を持つ人が、どなたなのか？、そして、どこで決めるのか？これは、最初にはっきり示してほしいのです。

これは、権限を持っていない一般市民としては、権限を持っている人達に取り上げて頂けない事も想定の上で書くわけですが、それならせめて、どなたがどこでどう決めるのか？最初から、知っておきたいわけです。

これは、市民電子会議室の運営委員会全員が、この権限と責任を持っているのでしょうか？それとも、この会議室の進行役に、一任されているのでしょうか？はたまた、運営委員会の委員長に一任されているのでしょうか？また、決めるのは、会議を開くのでしょうか？メールで議論して決めるのでしょうか？

---

表題：[mirai2011:9]<進行> Re: この会議室自体についての質問

日時：2009/10/19(月) 14:38:37

発言有難うございます。

ご質問、「とりまとめる」責任と権限についてですが、ここで使われた「とりまとめる」という意味は参加された方々の発言を総合計画審議会へ届けるということでしょうか。昨年も行われましたが、市の担当部門と連携して実施する計画策定のための会議室と同じような位置付です。届けるための「とりまとめ」はテーマ修了時に市民電子会議室運営委員会で行いますが、参加者の発言はそのまま届けられますので安心してください。

この未来会議室は始まったばかりです。まだ参加者が多くありません。お知り合いに声をかけていただいて、発言していただくよう、ご協力をお願いします。

宜しく申し上げます。

---

表題：[mirai2011:10]ご回答ありがとうございます

日時：2009/10/19(月) 23:19:09

ご回答ありがとうございます。

> 届けるための「とりまとめ」

> はテーマ修了時に市民電子会議室運営委員会で行いますが、

> 参加者の発言はそのまま届けられますので安心してください。

わかりました。人が増えればここへの書きこみが膨大になるかもしれず、そうすると、まとめとして目についた意見を選んで、その意見だけを送る事になって、せっかく書いても審議会に送られない事はこちらも充分承知した上で書きこまない、というふうに、想像していましたので、それならせめて、誰が、どういうふうを選んでいくのかな、という事を知りたかった次第です。そうでなく、運営委員会または進行役の設定するテーマ、についての参加者の発言を、全部そのまま送るわけですね。

ただ、審議会に全部そのまま印刷して送っていただけるとしても、審議会の人が、そ



れを討議する時間どころか、全部読む時間も無いのでは。市からは膨大な資料が来るだろうし、100人委員会、1000人討論、パブリックコメント、からも、たくさんの意見や資料の紙が来るわけですね。そうすると、審議会の委員の人が、一般市民の意見を大切にする考えかたである事を祈りたいですね。審議会の委員の人がこの会議室に参加したら、すごいんですが。

=====

表題：[mirai2011:4]<進行> 新しい総合計画について情報を提供します！

日時：2009/10/15(木) 11:54:16

今日は爽やかないい天気ですね～！

では、早速集中意見交換期間（10月26日（月）～11月13日（金））の前に情報の提供を始めます。まずは市のホームページから、昨日更新された「新総合計画の策定ページ」を紹介します。URLは下記の通りです。クリックしてみてください。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikaku/page100159.shtml>

「新総合計画の策定のページ」が現れ、今までの活動した内容が説明されています。この市民電子会議室がオープンしたことも告知されています。「総合計画審議会のページへ」、「地域経営戦略100人委員会のページへ」、「市民1000人討論のページへ」の見出しがあり、その見出しをクリックすると、今までの活動内容が時系列にまとめられた資料名にたどりつきます。その資料名をクリックすると、さらに細かな説明資料になります。PDFで作られているので表示されるのに時間がかかるものもありますが、関心のあるところから読んでみてください。何か聞きたいことがあれば発言をお願いします。

今回は総合計画審議会の紹介をしたいと思います。私もすべてを知っているわけではないので、経営企画課の方々の協力もいただきながら進めたいと思います。宜しくお願いします。

-----

表題：[mirai2011:5]<進行> 新しい総合計画について情報を提供します！

日時：2009/10/16(金) 12:48:33

こんにちは！進行役です。

「新総合計画の策定のページ」はご覧になりましたか、だいたい概要はつかんでいたでしょうか。

では、昨日に引き続いて「総合計画審議会のページへ」、「地域経営戦略100人委員会のページへ」、「市民1000人討論のページへ」からももう少し掘り下げたいと思います。藤沢の未来を描く、新しい総合計画を作るための会議体の話です。

すみません、使う言葉が固くなりますが、私のいただいた資料では、会議体の役割は下記のように伺っています。

★総合計画審議会：

市民の意見や提案について、地域経営戦略100人委員会と合同協議、市民1000人討論、パブリックコメントなどを踏まえて、総合的・専門的見地から基本構想と基本計画をまとめる

★地域経営戦略100人委員会：

各地区の地域経営会議の委員と、幅広い領域の市民公募委員より結成。基本構想・基本計画などの意見提案や、総合計画審議会との合同協議により、市民の意見を計画づくりの反映させる

★地域経営会議：

基本構想・基本計画について議論を深め、地域経営戦略100人委員会に意見・提案を行うとともに、基本構想・基本計画を踏まえ、地域経営実施計画（13地区別まちづくり実施計画）を策定

★市民1000人討論：

市民に市制への関心を持ってもらうとともに、より広範囲な方々の声を計画に反映していく「市民力」を発揮する会議

藤沢の未来地図を描く、新しい総合計画をまとめるために、

- －市民参画をどのように求めていくのでしょうか、
- －これらの会議体をどのように有機的に動かしていくのでしょうか、
- －何がまとめるための推進力になるのでしょうか、
- －等々、

新たな試みとして”ふじさわモデル”を立ち上げたと伺っています。この点について経営企画課からわかりやすく説明していただけますか、説明が誤っていたり、不足していれば補足してください。宜しくお願いします。

-----  
表題：[mirai2011:7]〈進行〉 Re: 〈進行〉 新しい総合計画について情報を提供します！

日時：2009/10/16(金) 22:35:04

はじめまして、藤沢市経営企画部経営企画課です。よろしくお願ひします。

「ふじさわモデル」の主な特徴です。

<総合計画の両輪>

今までは、審議会に市民公募の方に参加いただいたり、パブリックコメントをしたりという行政主体の計画づくりでしたが、今回は、より多くの市民の皆さんに参画いただき、市民と行政が共有できる計画となるようにしたいと考えています。

<三層構造>

ご説明いただいたとおりです。

総合計画審議会は、市民、地域、職員からの声を踏まえて、藤沢の将来ビジョンなどを検討して、基本構想・基本計画をまとめていきます。

まとめるための素材は、地域経営戦略100人委員会や地域経営会議、市役所の中の検討会議から提供しています。

地域経営戦略100人委員会は、地域での特色あるまちづくりのことを踏まえながら、市全体の基本計画を練っていくこととなります。

地域経営会議は、地域経営戦略100人委員会での活動などを踏まえて、地域の計画を考えていきます。

市民1000人討論は、行政や地域の活動にあまりなじみのない方にもこれからの藤沢について考えていただき、意見をいただく会議です。まだ実施していません。

<地域完結型のまちづくり>

総合計画の策定の前提として、「地域のことは地域で考え、地域で実行する！」という地域経営会議を中心とした地域完結型のまちづくりを進めていくということがあります。

総合計画は、その地域経営のための計画でもあり、地域で考えるための手法やプロセスを学んだり、地域や活動領域ごとに情報交換を行ったりという機会でもあります。

ちょっと前のものですが、記者会見の資料です。参考になりますでしょうか。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000279879.pdf>

- > 藤沢の未来地図を描く、新しい総合計画をまとめるために、
- > ー市民参画をどのように求めていくのでしょうか、
- > ーこれらの会議体をどのように有機的に動かしていくのでしょうか、
- > ー何がまとめるための推進力になるのでしょうか、

この会議室のお話しを含め、総合計画審議会に素材が提供され、料理されたものをそれぞれの会議の皆さんで味わっていただくということが基本になっています。

計画をまとめるための市民参画の仕組みは、三層構造で行っていきませんが、その具体的な方法は、皆さんの意見を伺いながら考えていくこととなります。

皆さんの「声」こそが推進力であると思っています。

いきなり長文ですみません。

---

表題：[mirai2011:8]市民の意見とするには公募条件などが疑問、100人委員会

日時：2009/10/17(土) 01:02:48

発言7によりますと、

- >総合計画の策定の前提として、「地域のことは地域で考え、地域で実行する！」
  - >という地域経営会議を中心とした地域完結型のまちづくりを進めていく
- ということがあります。

この「地域」というのは「地域住民全員」を指すのですか？それとも、「地域で現在影響力を持つ一部の人」を指すのですか？地域経営会議が半数以上、地域団体、の人によって構成され、しかも地域団体の人は任期は無制限、ということだったと思いますので、どうも、後者にしか思えません。

100人委員会についても、

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000279884.pdf>

によりますと、地域経営会議準備会 66 名、市民公募委員 72 名となっていて、地域経営会議準備会というのは「地域団体」の人しかなれない、という話だったと思います。

ただしそれでも、残り 72 名が市民公募だから、一見、市民の多様な意見を広く取り入れる人選のように思えます。しかし、この公募は、条件がついていました。7 月 10 日の広報を見て、自分が募集をチラッと見たのに応募しなかった理由を思い出しました。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/khf090710/sisei02.html>

以下の対象分野にある活動をし、と書いてあって、子育て・教育、安全・安心、福祉・医療、環境、産業、芸術・文化地域コミュニティー、地域のまちづくり活動、という 7 分野のどれかの活動をしている人しか応募出来ない、という厳しいハードルがあったんですね。自分の生活で精一杯の人が大部分であって、公募のアピール面と主張出来るほどの活動をしている人は、それは本人の努力もあるのでしょうか、市民全体から見たら、かなり少数ではないでしょうか。ある意味、勝ち組と言っても言い過ぎではないでしょう。つまり、100 人委員会というのは、地域経営会議準備会 66 名 ← 地域で既に影響力を持つ社会的強者、活動している事が条件の市民公募 72 名 ← 生活の他に活動出来る社会的強者であり、どちらも、社会的強者であり、その強者ばかりの 100 人委員会の意見が、社会的地位の高い人の集まりである、総合計画審議会、に対する市民の意見、とされるなら、ますます強者優先の藤沢市となる危険も意識せざるを得ません。こうした形は、ゴミ有料化、無料駐輪場を無くす、などの、生活が精一杯の低所得者層いじめ路線などを、ますます加速する新総合計画となる危険を警戒するものです。

-----  
表題：[mirai2011:14]〈進行〉 Re: 市民の意見とするには公募条件などが疑問、100 人委員会

日時：2009/10/20(火) 15:58:44

送信者：経営企画課

藤沢市経営企画課です。ご発言ありがとうございます。地域経営戦略 100 人委員会では、委員自身からのご意見などはもちろんのこと、委員を通して更に広く、地域の住民の皆さんとのやり取り（アンケート調査やインタビューなどを想定しています。）によって、生活実感にもとづく声や重要度などを聞きながら検討を進めていく予定です。パブリック・コメントも今後予定していますが、また、この会議室において、より多くの皆さんからご意見をいただきたいと考えています。よろしくお願いします。

-----  
表題：[mirai2011:15]ご回答ありがとうございます。

日時：2009/10/20(火) 23:19:58

ご回答ありがとうございます。

最近、市民電子会議室への市職員の回答が活発で、驚いています。これは、高く評価しなければなりませんね。

ただ、もう少し、気になる点を書きたいと思います。

-----  
表題：[mirai2011:17]<進行> 新しい総合計画について情報を提供します！

日時：2009/10/22(木) 12:58:23

時間が空いちゃってすみません。いくつか新たな発言もありました。有難うございます。経営企画課の方からも「ふじさわモデル」の投げかけに対して回答をいただきました。ご理解いただけただけでしょうか、聞き慣れない言葉があるかもしれませんが、私の言葉で言い変えると、まずは、「藤沢の未来をどうしたいの！」「未来を語る前に、今まではどうだったの！」「それを踏まえて、未来はどう描こうか！」をご自分の言葉で語っていただければと良いのだと思っています。

地域経営戦略100人委員会ですが、すでに二回行われました。どのようなことが話されているのか、この会議室で発言する際に参考になる思うので二つほど紹介します。

☆TEAM238かわらばん第一号が発行されています。

この会議室の共有フォルダーに「team238news\_vol1」の名前でかわらばん第一号を貼り付けました。因みに”見出し”は下記の通りです。地域経営戦略100人委員会で雰囲気を感じられと思います。

+++++

1. はじめに
2. 第一回会議を開催しました
3. 新総合計画とTEAM238
4. 課題解決のチカラ
5. ワールド・カフェとは？

+++++

☆第一回委員会のテーマは「TEAM238を成功させるには」と「藤沢らしさ」でした。多くの参加された方が意見を述べています。それらの意見をまとめた資料を経営企画課から入手して、この会議室の共有フォルダーに「identity20090822」の名前で貼り付けました。この資料は参加された方々が意見を模造紙に書き、それをソフトコピーに置き換えたものです。例えば模造紙12枚目に書かれた意見を紹介します。

+++++

12 枚目

藤沢らしさ 夏だけ？ 初詣だけ？

せっかく良い自然環境を持っているのに活かしていない。もっとアピールして

終の棲家 緑と太陽の町 安全な町、安心な町 太陽と潮風の町

魚と大根の町 文化の香り 博物館や美術館がない

自然の残る緑の残る村と町の共生

あまり保守的でない、人柄がいい、程度しか「らしさ」がない

→今後どうするか／どうなるか

住みやすい よそから来ても住みやすい

湘南・江の島一観光（海??） 海以外はないの？

梨、藤稔は北の魅力？

北とか南とか言い出すと住みにくいになるけど、よそから来ても住みやすいとなるのが魅力

全体のバランスで藤沢をPR 強いものがないというのがらしさ

悪のなさが良い バランスがとれている 身軽に歩ける町

周りが無関心だから住みやすいのではない

+++++

いろいろな意見が出されていますね～。

今週はそれを見ていただいて、来週の第1回の集中意見交換期間（10月26日（月）～11月13日（金））、テーマは「現在・未来の藤沢らしさ、藤沢の未来課題」につなげていただければと思います。宜しくお願いします。

-----  
表題：[mirai2011:22]<進行> Re: <進行> 新し総合計画について情報を提供します！

日時：2009/10/24(土) 15:23:10

こんにちは！

まず、30年後の藤沢像から入りました。これからの展開がとても楽しみです。発言有難うございました。

いい点・悪い点、生活周りの話から入りました。市民の方々の関心も高いところ、大事なポイントだと思います。発言有難うございました。

では、引き続いて情報を提供します。地域経営戦略100委員会の活動内容を紹介していますが、市民の方々の発言から藤沢らしさが抽出され、それが藤沢の未来地図を描く作業につながっていく流れが少し見えてきたのではないかと思います。

☆第一回地域経営戦略100人委員会のテーマである「藤沢らしさ」、について下記URLをクリックしていただければ資料が開けます。前回紹介した以外の意見もたくさんありますので、ご覧ください。

<http://net.community.city.fujisawa.kanagawa.jp/cpfiles/SHAREDFOlder/mirai2011/identity20090822.pdf>

☆第二回地域経営戦略100人委員会のテーマは「30年後の藤沢らしさ」です。前回と同じように、資料を経営企画課から入手して、会議室の共有フォルダーに「identity20090920」の名前で貼り付けました。この資料も、例えば「30年後の藤沢にはどんな風景が広がっていますか？」の問いかけに対して参加された方々が意見を模造紙に書き、それをソフトコピーに置き換えたものです。二つほど紹介します。また、下記URLをクリックしていただければ全部の資料が見れます。ご覧ください。

<http://net.community.city.fujisawa.kanagawa.jp/cpfiles/SHAREDFOlder/mirai2011/identity20090920.pdf>

+++++

☆30 年後の藤沢にはどんな風景が広がっていますか？

- ・ 海岸がなくなる
- ・ 護岸がコンクリート化
- ・ 長後の商店街の再生
- ・ 御所見の様々な田畑を再利用できるシステムづくり
- ・ 老人の方々のエネルギーを内ではなく外へ向ける仕組み
- ・ 宇宙に飛び出す人が多くなり、高い空から眺めている。
- ・ まちがビルラッシュになっている。
- ・ 子どもが多くなり、まちじゅうが明るくなる。
- ・ 藤沢駅周辺が商業地でなくなる。
- ・ パソコン時代で外出をしない人が増える。
- ・ 電気自動車が走っている。電灯はすべて LED になる。
- ・ 湘南台地区が藤沢の中心になる。
- ・ エネルギーのベストミックスにより、災害に強いまちができる。
- ・ 電線が地下に入り、地上に緑が増える。
- ・ 各家庭の屋根に太陽光発電がつく。
- ・ 辻堂の海岸線に津波防止の山ができる。

☆30 年後の子どもたちに、いまのあなたは、どんなことを自慢したいですか？

- ・ 自然環境（緑あふれる藤沢）
- ・ 近所づきあい（住む人の温かさ）
- ・ 平和がますます感じられる藤沢
- ・ 人づくり（よいまち・道の駅・モノレール）
- ・ 祭り
- ・ 伝統文化・郷土文化
- ・ 湘南の海
- ・ 北部の緑
- ・ 活力ある静かなまち
- ・ 海・野・山の組み合わせ
- ・ 自然がいっぱいある環境
- ・ 史跡が多い・歴史のまち
- ・ 安全・安心都市
- ・ 外来者に対する寛容さ
- ・ やさしい人が多い
- ・ 地産地消
- ・ 交通の便がよい。

+++++

駆け足ですが、既に行われた二回目までの地域経営戦略100人委員会の活動について紹介が終わりました。ご質問・ご意見等々、気軽に声をかけて下さい。宜しく願います。来週から始まる第1回の集中意見交換期間(10月26日(月)～11月13日(金))、テーマは「現在・未来の藤沢らしさ、藤沢の未来課題」を宜しく願います。

=====  
表題：[mirai2011:11]はじめまして

日時：2009/10/19(月) 23:55:44

会議室に参加しましたのでご挨拶させていただきます。藤沢市に住んで2年ほどです

が、地域経営会議など先進的な取り組みをしている地域だなと思っています。将来を描く総合計画の策定に一言でも提案ができたらと思って参加しました。

個人的には、地域のことは地域の住民が関心をもって参加していかないとよくならないと思っています。今は、地域主権型道州制に関心があり、その実現に向けての活動をしています。政治や行政に詳しいわけではありませんが、市民の視点でディスカッションできればいいと考えていますのでよろしくお願いします。

---

表題：[mirai2011:12]<進行> Re: はじめまして

日時：2009/10/20(火) 11:36:05

はじめまして。

会議室へのご参加、どうもありがとうございます。藤沢市にいらしてからの、まちの印象や、住んでいる方々の印象なども、もしよろしければ合わせてお聞かせくだると、藤沢らしさを考える参考にもなりそうです。

その中で、良いところは伸ばし、そうでないところは解決していくような、そういった未来地図づくりができるといいと思います。

ご自身も、活動もされているとのことですが、その活動の視点からや、もちろん一市民としてのお立場からなど、発言をお待ちしております。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

---

表題：[mirai2011:13]<進行> 「藤沢といっても、お広うござんす。」

日時：2009/10/20(火) 11:48:09

> 今は、地域主権型道州制に関心があり、その実現に向けての活動をしています。

ご説明にもありましたが、先日、総合計画をつくっていく一つの組織である地域戦100人委員会で、「藤沢らしさ」について考えるワークショップを行いました。

そこから出てきた意見の中で、藤沢は南北や各地区ごとに、様々に違った表情や特徴、課題を持つということや、そのことから、全市で一律の目標や計画を掲げたりせず、地域ごとに、その地域に見合ったまちづくりをしていくべきだ、といったような話が多く聞かれました。

しかも、13地区ごとのまちづくりという枠組みは以前から進められてきて、今や藤沢のまちづくりの一つの特徴にもなっているという見方もあります。

私は、藤沢は、国に例えれば合州国のようなイメージなのかなという感想を持ちました。せっかくですので、こちらの会議室でも、100人委員会で抽出された「藤沢らしさ」の意見集を、ごらんいただければと思います。

※ちなみに、タイトルにした「藤沢といっても、お広うござんす。」は、ワークショップの中で、ある模造紙に書かれていた言葉の引用です。

---

表題：[mirai2011:21]情報ありがとうございます。



日時：2009/10/24(土) 09:45:56

おはようございます。

TEAM238のかわらばんを読ませていただきました。

写真入りで100人委員会の雰囲気伝わってきました。そのうち動画が配信されるのもっといいですね。

さて、私の考える「藤沢らしさ」というほど生活が長くはないので、暮して感じた「いい点」、「悪い点」を書いてみたいと思います。

いい点

- ・江ノ島という観光資源の目玉がある
- ・湘南エリアで海がある
- ・国道1号線という幹線道路がある（アクセスには問題がありそうだが）
- ・JRと小田急、江ノ電があり、JRが止まった時でも都心へ行ける（都内へ通勤しているため、何度か小田急へ振り替えた）
- ・遊行寺がある（遊行歌舞伎などの文化活動をしている）
- ・箱根駅伝の通り道であり、生で応援できる
- ・日大や慶応大などの大学が誘致されている（まだキャンパスに行ったことがないが若者の元気が町にあふれてくるといいなと思っている）
- ・農家も近いし、無農薬でやってるところもあり、安くて安心な食べ物が手に入る。
- ・引地川の両サイドに遊歩道があってジョギングなどにいい。（もう少し広くきれいに整備されたらもっといいが）

悪い点

- ・藤沢駅北口のバス乗り場が狭く移動しにくい。階段ばかりで老人には辛いのでは。
  - ・バスが本数が少ない割に同じような時間に集中したりしている。
  - ・道が曲がりくねっていたり、細い道が多い。
  - ・歩道も狭いところが多い
  - ・専用ゴミ袋が高い
  - ・映画館が少ない。シネコンなどが無い。
  - ・駅前などの駐車場が少ない
  - ・江ノ島の花火などはあるが、平塚の七夕祭りみたいな、有名なイベントがない
  - ・地元の中堅企業が少ない？
  - ・全国に名を知られるような地場産業、企業がない？
- もっとありそうな気もしますが・・・ とりあえず。

---

表題：[mirai2011:23]Re: 情報ありがとうございます。

日時：2009/10/25(日) 13:19:11

こんにちわ。私は運営委員でもあるのですが、進行役でもありませんので藤沢を生活

の場にする一生活者として、発言させて頂ければと思います。お話に乗っからせていただきます！

私は、藤沢に通勤するものなのですが、通勤者としては良い点、悪い点を以下のように感じています。

○ 良い点

- ・ 電車の便が良い。横浜・新宿・品川などターミナル駅に、藤沢や湘南台など市内の拠点駅から、ほぼ一本でいけるのはとても便利。
- ・ 食事処が充実していて、地元に戻らなくても（むしろ地元より）おいしいものが、職場の近くで食べられる。
- ・ 湘南のブランドがあり、そこに関係するものとして、愛着を持ちやすい。
- ・ 気候が温暖。（私自身は北関東出身なのですが、生活の場となってからはあまりの気候のよさにびっくりします）自然環境も豊かでリラックスできる。

○ 悪い点

- ・ 娯楽が少ない、もしくは季節的。主要な娯楽は海に関連したものだと思いますが、やっぱり夏限定になってしまいます。それから、仕事の帰りに、ちょっと寄っていききたいなという娯楽が少ないように思います。映画館も少ないです。特に湘南台周辺はそういった娯楽というと、カラオケかパチンコになっちゃいますよね。
- ・ 上の娯楽の少なさもあり、どうしても通勤者にとっては、通過地点になってしまう。

数が少なくて恐縮なのですが、ぱっとおもいついたものではこれくらいでしょうか？大学もたくさんありますし、藤沢に通勤通学している人も多いように思います。藤沢に暮らす人の目線がもちろん一番大切だとは思いますが、藤沢に通勤・通学する人が描く藤沢の将来像を考えてみるのも、結果的には、暮らす人の利益になるように思うのですが、いかがでしょうか？あまりまとまらない意見でごめんなさい。

-----  
表題：[mirai2011:26]Re: 情報ありがとうございます。

日時：2009/10/26(月) 15:17:40

はじめまして。

私は藤沢にすんでいるわけではないのですが、藤沢の大学に通う大学生です。

街づくりに興味があり、藤沢は地域の結びつきが強い街だなと感じています。

私も藤沢に詳しいわけではありませんが 2 年間通って思っている藤沢の良い点悪い点をまとめてみました。

良い点

- ・ お祭りや地域イベントが多い
- ・ 自然が豊か
- ・ 子育ての支援が充実してたり、地域ぐるみで子育てのイベントを行ったり

している

- ・ 湘南台駅では地域のイベントやその宣伝が良く行われていて駅の場所を有効に活用できているなど思っています（初めて湘南台に来た時は駅のアナウンスにも驚きました。～ひったくりに気をつけて下さいとか最近であったらインフル エンザについてとか）
- ・ 市民電子会議室のような場が市民に与えられていること
- ・ 学生と一般市民の方が交流できる場がある。（でももっと増えてほしいです）

悪い点

- ・ 湘南台は駅の外観が悪い（パチンコ屋さんとか・・・）
- ・ バスの本数はやっぱり少ない思います。
- ・ 季節的だと思います。夏の印象が強い。それはいい意味でもあるし、悪い意味でもあると思います。

以上です。でもおっしゃる通り一概に藤沢と言えないですね。地域ごとにやはり問題は違うのかなとも思います。私は辻堂などはほとんど行ったことがないので・・・とても参加しやすい質問ありがとうございます。

それでは、また。

---

表題：[mirai2011:27]はじめまして

日時：2009/10/26(月) 19:04:32

若い方がこういうことに興味をもっていてくれてとてもうれしく思います。しかも、実際に発言したり、行動してくれる人はなかなかいないので、その行動力は素晴らしいですよ！藤沢に通勤・通学している人も含め、一緒に考えていけたらいいですね。

自分のまわりでおこっていることを改善したいと思ったら、自ら行動すれば変化を起こすことは可能です。その最初の行動は、「行動する気持ちはある！」と手をあげることでですね。そうすれば、一緒にやろうという人から声がかかったりして、動き出します。

私も、来月14日に道州制の講演会イベントで250人を集めるということをして6人の仲間を始めましたが、一緒にやってくれる人も10人に増えて、地味なビラ配りなどもみんなで交替でやったりしています。藤沢市の未来図もみんなでワイワイといいながら描いていけたら楽しいと思います。いずれオフ会なども、企画しましょう！

---

表題：[mirai2011:40]総合計画的な話題をひとつ・・・

日時：2009/10/26(月) 22:37:21

お書きになったところにつなげます。

> 悪い点

> ・ 湘南台は駅の外観が悪い（パチンコ屋さんとか・・・）

これは都市マスの課題でもあるのですが。湘南台だけでなく、街の景観が悪いところ

たくさんありますね。街の景観って誰が決めるのでしょうか？建物のデザインは、設計する人（実は私の職業ですが）や住宅メーカーやマンションでデベロッパーが決めるのですが、街の景観はそれらの集合体なんです。

だから、それぞれの建物が自己主張だけして、「街の景観をよくしよう」「周囲の街並みにあわせよう」としなければ、バラバラな感じ悪い街になってしまいます。

S F Cのキャンパスは統一感があってすばらしいけど、周囲とはあってない（笑）

周囲の景観を誘導する役割を担っているんですね。

景観法があってもそこには細かく「こうしなさい」とは決めていないので、いくら法律があっても街並みは「今よりひどくならない」かもしれないけれど「美しい街並み」にはならないのです。では誰がやる？市？きっと、「市」がやるのでしょうか。でもここでの「市」は行政（市役所）ではないのです。「市」には市民や企業も含まれる。街の景観を美しくすることを「市」のコンセプトにし、市民も企業もそれを遵守する。行政はそのことを応援し、後押しするのが一番いいと思います。これって、総合計画的なんじゃないかな

---

表題：[mirai2011:39]<進行> あるといいなと思う日常的な娯楽

日時：2009/10/26(月) 22:19:14

○ 悪い点

ちなみに、ご自身が望まれる…ちょっと寄っていきたいと思う娯楽って、どんなものですか？

私は…、何だろう、気の合う人とおしゃべりしたりするのが好きなので、居心地のいいお店、ぐらゐが娯楽場所かもしれません。（あんまり考えたことなかったです。）

でも、以前、飲みながら友人と話をしていたときに、藤沢駅近辺って、昔ながらのちょっと立ち寄れるような飲み屋や、わきあいあいとした屋台みたいな場所がないよね、というのが出てきました。洗練された都市像みたいな姿とは両立しにくいのかもかもしれませんが、あったかい繁華街というか、そこに行くと常連客が楽しく飲んでいて、わいわいがやがやしゃべって、1日の疲れを少し軽くして家へ帰る、というのが、藤沢にももっとあったらいいなと私も思いました。もっと知れば、あるのかもしれませんが？

例えば辻堂駅の北口は、大きな開発が予定されていますが、ああいう場所にそういう空間は期待できるのかどうか…。それとも、C-Xに新しく会社がたくさん入って、勤務する人も増えたら、その周辺の商店街エリアがどんどんにぎわっていくようになるかな？

なんだかずいぶん話が展開してしまいましたが、聞きたかったのは、「ほしい娯楽」です（笑）他の方も大歓迎です。よろしくお願ひします。

---

表題：[mirai2011:42]個性的な飲み屋があるといいですね

日時：2009/10/26(月) 23:37:23

私は北口利用かつ自転車利用なので、平日はあまり寄ることはありませんがやはり気

軽に寄れる飲み屋とか、湘南らしいマリネテイストのある店などがもっとあったらいいなと思います。ビリヤードの店は遊行通りに発見しました。ラーメン屋さんは、「松壺屋」が有名ですね。あと、評価は様々だと思いますが、スルガ銀行の裏手にある「こぐま」の牛乳ラーメンなどは話題になるかも。パチンコ屋は立派なのが何軒もあるけど、いかないので・・・広々としてゆったりできる喫茶店も少ないですね。

-----  
表題：[mirai2011:46]Re: <進行> あるといいなと思う日常的な娯楽

日時：2009/10/30(金) 21:15:36

お返事、遅れてしまっておめんなさい。新たにスレッドが立っているので、そちらにとも思ったのですが、レスの形の方がわかりやすいかなと思い、こちらに書かせて頂きます。僕が欲しい娯楽というと、駅から歩いていけるスポーツ施設でしょうか？僕が日常利用する湘南台駅だと、湘南台公園にテニスコートがあったり、湘南台市民センターの内部に、体育ホールがあるのも知っているのですが通勤・通学の人を使うにはちょっと敷居が高い気がしています…。個人登録なども必要だと聞いていますし。個人的には、フットサルをするので、お隣のゆめが丘の駅にあるようなフットサルコートが湘南台駅から歩ける位置にあれば、帰りがけに友だちとちょっと一蹴りなんてことも出来るし最高だなあと考えています。ただ、そこまで施設として整備されていなくても「気楽に球技が出来る公園・芝生」があれば、それで大満足かもしれません。それが出来なければ、せめて、ボーリング…でも湘南台には徒歩圏にないんですよね…。スポーツジムでの運動もよいのですが、みんなでがやがや騒げるような集団競技が気楽に楽しめるような場所があったらいいなと思っています。

あとこれは、完全に夢レベルのお話なのですが、市内に(プロ)スポーツチームのホームスタジアムがあると素敵だなと思います。先日、川崎の等々力競技場にサッカーJリーグの試合を初めて見に行ったときにびっくりしたのですが、川崎フロンターレのサポーターはホームの試合前に「川崎市民の歌」を大合唱するんです。僕はアウェー側のスタンドに座っていたので、周りは一瞬、ええって雰囲気になりましたが、すぐにフロンターレすごいね。という話をみな口々に話していました。地域ぐるみで応援できることがあるのは、やっぱりとても素敵だと思います。日常が豊かになりますよね。

サッカーでは、藤沢は湘南ベルマーレの広域ホームタウンになっていたと思うので、もっと応援しなきゃと思っています！！ 今年はぜひJ1に昇格を。長々とまとまらない文章をすいません。

=====

表題：[mirai2011:16]もう少し柔軟な運営もご検討を 100人委員会

日時：2009/10/20(火) 23:46:27

100人委員会について、2つ目です。

100人委員会は、運営は、まちづくりコーディネーターが担当する、と広報にも書いてありました。1回と2回の議事概要を読んでも、議事進行自体が、まちづくりコーディ

ネーターとスタッフで行われる、というようにしか読めません。あとは市の幹部の発言が目立つぐらいで、肝心の委員の発言などほんのわずかです。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000291479.pdf>

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000292148.pdf>

まちづくりコーディネーターの肩書きは、議事概要によると、

慶應義塾大学総合政策学部准教授

慶應義塾大学環境情報学部准教授

慶應義塾大学総合政策学部専任講師

の3人となっていますが、委員が投票してこの3人を選出したわけでもないですね。

立派な大学の教授が、そうしようと言っているんだから、そういう議論の方法というのは、いい結果を引き出す場合もあるのかもしれない。しかしそれ以前に、その議論の結果への責任が気になります。100人委員会というのは、言われた通りの形で議論して、それを言われた通りに書いているだけですよね。ようするにこれは、100人委員会が審議会に出す意見の内容についての責任から言えば、100人委員会ではなくて3人に責任がある形とは言えないでしょうか？3人が強大な権限と責任を持っている委員会であり、100人委員会というのは、この3人の委員会に言われた通りのやり方で議論したり回答したりする事しか許されない、3人委員会へのアンケート回答者に過ぎない形、とも思えるわけです。この状態で出した意見が、審議会に最も影響力を与えて、それが藤沢市民40万人の暮らしに影響して、いいのでしょうか？極端な仮定まですれば、この3人にも、こういう総合計画になるべきだ、という個人的な考えがあってもおかしくないし、ましてや同じ大学だし、おそらくこの3人を選んだであろう市の地位の高い方にも個人的な考えがあってもおかしくないですよね。そういった人達の望む意見が出やすいような議論のルールに最初からしておいた、なんて事が有り得ないか、なんて不安すら浮かんでこなくもないです。妙に明るいきり言っているのも、市内の問題点を少しでも触れないようにしているのかな、とかですね。ところで、100人委員会ってこんなに委員が居るのに、異議を唱える委員が少しも居ないのかな？ と思っていたら、藤沢市議会議員全員協議会（10月1日）における意見に、

>第1回で途中退席した方へのフォローはどうなっているか。第2回100人委員会では、もう参加しないという委員もいた。

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000292583.pdf>

となっていたので、どうやら、100人も居れば、異議を感じる委員も居たようでホッとしました。私の感覚、おかしくないんだ・誰かに言われた通りのやり方でしか議論出来ないよう全員が強制されるなんて、そういう藤沢らしくない場所から出てきた意見が、審議会に対して最も影響力を持つなんて、市民として少し腑に落ちません。この議論の方法に疑問を感じない委員にはその通りやらせれば良いですが、もっと運営を柔軟に工夫出来ないでしょうか？たとえば、希望する委員などが数人集まれば、言われた通りの形の議論ではなく、独自の形で議論して審議会への意見をまとめる権利を与える、

とか。私はそっちが本物の100人委員会の意見のような気がしてしょうがないです。この100人委員会の人達は、現実に長年いろいろな組織をまとめてきたような人達が多いでしょうから、その人達の議論のやり方というのが、もともと藤沢にあった議論のやり方のような気もするんですが。

=====

表題：[mirai2011:19]私の未来地図を描こう！新しい総合計画に向けての発言

日時：2009/10/23(金) 06:07:26

私は、現在、藤沢市市民電子会議室の運営委員を務めさせていただいています。

このたび藤沢市の未来地図を描こう！と言う新しい電子会議室が開設されました。私はこの会議室の進行役ではありません。今後は一市民としてこの会議室で発言し、他の市民の方々と意見交換してゆきたいと思っていますので、よろしくお付き合いのほどを。

未来地図会議は、具体的に「藤沢らしさ」を求め、「30年後の未来」を想定して提案や意見交換が行われてゆくと思いますが、個人としての私が電子会議室で行いたい30年後の未来に求める藤沢らしさは、次のようなイメージで行いたいと勝手に決めて参加したいと思っています。

この全市をあげてすでに進行中の総合計画には、多くの要素が含まれています。

- ・ 他の都道府縣市町村が同じように未来への発展を求めて地方分権のもとで改革、改善をしようとしている普遍的で一般的なテーマ
- ・ すでに藤沢市で立ち上がっている「地域経営戦略100人委員会」、「総合計画審議会」で討議が重ねられ具体化されつつある事柄等。

上記の2つについて

- ・ 日常の行政の動きとして・市長・市議会・市役所・教育委員会・警察署・商工会議所・観光協会などの活動を見つめていくことにします。
- ・ 後発の電子会議室としては、屋上屋を架さぬよう特徴ある視点から未来地図を描いてゆきたいと思っています。

私、個人としては、以上のようなことを自分なりに整理整頓しながらテーマを取り上げてゆきたいと思っています。今回は、前口上にとどめ、追って具体的なテーマを発信してゆくつもりです。

-----

表題：[mirai2011:20]Re: 私の未来地図を描こう！新しい総合計画に向けての発言

日時：2009/10/23(金) 07:39:13

私が30年後の藤沢でまず最初に浮かんだ藤沢像を聞いてください。

- ☆ 日本中、いや世界中の人たちが住みたがる憧れの国際的な町に。
- ☆ 小さなことで結構！何か町に貢献できるものがないとなかなか住まわせてもらえない町。
- ☆ 農業、漁業、産業、観光、文化施設、レジャー施設、学校、住宅、公共設備などのバランスが良く、かつ経済的に自立できている、自給自足率の高い町に。

- ☆ 地産地消化のモデル地域に。
  - ☆ 人口密度が自然の生態系を配慮された値で運営されている町に。
  - ☆ 世界でひとつしかない町に。
- これらすべて現在は夢です。

夢は、一人で描いているうちは、夢の範囲を出ない。複数で描き始めて始めて現実味を帯びてくる。そして夢実現のための具体性を模索し、その結果、実現のためのハードルの高さにおののいた人たちが、実は夢に一番近い人たちである。今回はここまで。

---

表題：[mirai2011:28]はじめまして

日時：2009/10/26(月) 19:19:49

この夢は、私のイメージとかなり近いですね。

ただ、私は世界まで視野には入っていませんでした。

最近、藤沢駅でも結構外国人の人が多くなったとは感じていましたが・・・

住みやすさ、暮しやすさは万国共通で求められているのでしょうか。

国際的に見ても競争できるレベルの地域になりたいものです。

日本全体でも、幸福度の調査（2006年度）で178カ国中の90位だそうです。

ちなみに1位：デンマーク、2位：スイス、3位：オーストリア、ブータンが8位、アメリカが20位、中国の82位にも負けています。相当がんばらないといけませんね。

どうぞ、よろしくお願いします。

---

表題：[mirai2011:29]Re: はじめまして

日時：2009/10/26(月) 20:05:07

メッセージありがとうございます。

拝見して、私も感じ方が近いなあーと親近感を持っていたところでした。メッセージをいただき、夢を膨らませてゆく仲間に出会ったような気がしました。こちらこそよろしく。私の描いた夢に対し、わが息子曰く。「とうちゃん、無理だよ！」と一蹴でした。

40代の息子は、いま三人の子育てと仕事のやりくりで、毎日が現実的な事柄で目いっぱいです。実現性の遠い夢なんて持っていられないのも無理のない年代だと思っています。同じ年になったらきっと分かるさ、とあえて議論を避けました。その分、この電子会議で存分意見交換してみたいと思っています。

---

表題：[mirai2011:24]「TEAM238を成功させるには」というテーマでの意見は審議会に伝えられてない？

日時：2009/10/25(日) 23:23:24

集中意見交換期間の前ですし、もう1つ担当課に質問させてください。

発言22で、この会議室の進行役さんが



- ＞ ☆第一回地域経営戦略100人委員会のテーマである「藤沢らしさ」、
- ＞ について下記URLをクリックいただければ資料が開けます。
- ＞ 前回紹介した以外の意見もたくさんありますので、ご覧ください。  
とおっしゃってますね。貴重な資料の開示、ありがとうございます。

でそのURLを開きますと、8月22日の第1回藤沢市地域経営戦略100人委員会で、「TEAM238を成功させるには」というテーマと、「藤沢らしさとは」というテーマで出た意見が、羅列されていますね。

で、それは総合計画審議会にどう伝えられたのか見ますと、第2回総合計画審議会[2009年(平成21年)9月13日]の議事資料、というのを見てみますと、<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/content/000292144.pdf>

「藤沢らしさとは」というテーマの意見が整理された資料となっていますが、「TEAM238を成功させるには」というテーマでの意見は、どうやら、審議会には伝えられてないのでしょうか？

=====

表題：[mirai2011:25]未来地図を描きました！

日時：2009/10/26(月) 13:09:38

共通で書き込むテーマがまだなかったので、とりあえず自分の案(思いつき)を記載しておきます。

#### 1. 藤沢という都市としての魅力

- i. 東京や横浜のベッドタウンという位置付けの比率を下げ、地元産業を充実し、地元の人が仕事をする場を増やし、地産地消の比率をあげる。(農業、商店街の活性化など)これにより、自治体としての財源を増加させる。
- ii. 40万人規模は道州制という基礎自治体として一番効率のいい人口規模と言われている。少子高齢化による人口減少をくい止め、この人口規模を維持し、できれば、世代が偏ることなく、若者から高齢者までが、魅力ある地域とする。また、市役所など行政関連の業務をより効率化し、市民をお客様と考える地域経営を実践できるようにする。
- iii. ゆりかごから墓場までの充実、たとえ高負担になっても、高福祉や医療の充実、育児支援の充実など安心、安全に住める、誰もが定住したいと思える施策が充実する。全体としての高負担をさけるためには、利用と負担の原則を徹底し各自の人生設計においてカフェテリアプランのように選択できる形が必要。

#### 2. 交通ネットワーク

- i. 今まで、道路も電車も横方向(東西)はあるが、縦方向(南北)は弱いと思っています。そういうことも地域の分断につながると思うので、もっと市内全域で移動のしやすい交通網が発達してほしい。
- ii. 自動車社会から、より自然と親しみやすい自転車で走りまわられる専用道路を少し

でも長く設置してほしい。特に河川沿いなどは、ジョギング者とも安全に走れるある程度の広さを確保してほしい

### 3. 住民の意識

- i. 今後の地域充実のためには、何もしないで、政治家や役人がやってくれるという意識を脱却し、個人ができることはやって、要望を伝え、実行を監視するという市民意識の向上が必要。
- ii. 自主・自立で町おこしをできるように、住民同士の結束を高め、風通しのいいコミュニティとなって欲しい。そのためにも、地域経営会議が発展し、自治会活動などを取り込んで青年、壮年、熟年者がそれぞれの持ち味を発揮し、一体的な取組ができることが必要。

### 4. 産業の発展

- i. 江ノ島、湘南の海という観光資源は目立つが他にも遊行寺とか藤稔とかまだまだアピールすればいい藤沢の特徴があるはず。商業ベースに任せずに、市としての連関を持たせて人を呼び込める魅力を作っていきたい。
- ii. 大企業誘致よりも、中小企業や個人事業の育成を図り、地元にお金がたまる仕組みを作る必要がある。BUYローカル条例などを作るとか。そのために、産業支援、経済活性化策には力を入れてほしい。

### 5. 地域文化の継承

- i. 地域の特徴にもなる伝統行事や、技術・文化が継続できるように、補助・支援が必要。
- ii. 新たな文化としては、日本人であることの特質を意識して、いい意味での村文化を作りたい。たとえば、排他的にはならず連帯感のあるコミュニティ。外国文化もうまく取り入れ日本流にしてしまう柔軟性。大学も増えてきていることから、産・学・官が一体となって新技術や、より人間性を生かした政策を打ち出すなど。
- iii. 他にも福祉や教育などもっと分野毎に提案したいこともありますが、とりあえず。
- iv. まずは、みんながこんな藤沢にしたいということを発信して、相互に質問しあうことで、より具体的なものにしたりしていければいいかと思っています。

ぜひ、ご意見・ご質問をレスしてください。

進行役の方にはお願いですが、議論をしやすいように、総合計画に合わせたテーマ別のスレッドを立てるとか、参加者がどのような立場で参加しているかを知ることができるような、共通のプロフィールなどを記載してもらおうといいのではないかと思います。

個人情報兼ね合いもあって難しいかもしれませんが必須ではなく任意でもいいとは思いますが。

ちなみに私は

1. 年代        50歳代
2. 仕事        今はサラリーマン（石油会社のシステム部門）ですが、  
個人事業起業予定

- 3. 家族 既婚、子供3人 母と同居
  - 4. 藤沢在住 2年 (在勤でもいいかも)
  - 5. 関心事 地域主権型道州制の実現
- 以上

---

表題：[mirai2011:31]<進行> Re: 未来地図を描きました！

日時：2009/10/26(月) 21:25:41

みなさん、それぞれのお立場や視点からの未来地図・夢を寄せていただき、ありがとうございます！拝見していると、「ああ、自分と同じ考えだ」と思うことがあったり、逆に、自分とは違った視点や考えを持っている方もいらっしゃるのだなあ気づかされたりすることが出てきます。

さて、すでに走り出していただいている「藤沢らしさ」「未来課題」の意見交換ですが、今日から、集中意見交換期間ということで、少し細かい形で進めさせていただきます。

> 進行役の方にはお願いですが、議論をしやすいように、総合計画に合わせた

> テーマ別のスレッドを立てるとか、

ご意見にもありましたが、これから、ざっくりとしたテーマごとのスレッドを用意させていただきます。ひとまず、テーマの構成は、100人委員会で出された意見がまとめられていたその枠組みに沿ってやっていきたいと思いますが、もちろん、そのほかの観点として自由に発言いただいてもかまいません。

どうぞよろしくお願いいたします。

---

表題：[mirai2011:32]<進行> 任意で自己紹介もお願いします

日時：2009/10/26(月) 21:31:19

追記です。

> 参加者がどのような立場で参加しているかを知ることができるような、

> 共通のプロフィールなどを記載してもらおうといいのではないかと思います。

> 個人情報の兼ね合いもあって難しいかもしれませんが必須ではなく任意でも

> いいとは思いますが。

そうですね。発言する方のご自由ということにさせていただきますが、通勤・通学をしていることなどを添えていただいたりするだけでも、参考になるかもしれませんね。

ちなみに、私は、30代女性、在学・在勤・在住を合わせると藤沢市には13年くらいかかわっていることになりますか。。

よろしく申し上げます。

---

表題：[mirai2011:44]<進行> 自己紹介がてら、つぶやき発言

日時：2009/10/27(火) 23:49:36

今週は少し出遅れてしまい、皆さんの発言を汗をかきながら（笑）読んでいます。

まずは簡単な自己紹介ですが、60代の男性、いつでもどこでも出番があれば出掛けられるように自宅待機中です。それとも、このままずっと自宅待機が続くのかな～、さあ、どうなるのでしょうか！

それはそれとして、皆さんの発言を読んでいますが、語る言葉に違いはあれど、思いは通じるものがあると感じています。藤沢の未来を輝けるものしたいですね。

取りあえず自己紹介がてらのつぶやき発言で～す。

どうぞ宜しくお願いします。

---

表題：[mirai2011:38]Re: 未来地図を描きました！

日時：2009/10/26(月) 22:11:50

初めてこの会議室に発言します。

簡単な自己紹介

ふじさわ在住38年、仕事も市内で自営です。

現在、都市マスタープラン策定協議会の委員もやっています。

細かな議論に入る前に、見出しに沿って私も普段考えている「ふじさわらしさ」や「ふじさわの課題」を出しておきます。

#### 1. 藤沢という都市としての魅力

- ・ いい意味で都心でもなく地方でもないところ
- ・ 完全に都会に依存せず自立できる様々な環境が整っている
- ・ 近年急激に人工が増加したのではなく20年以上済み続けている人が多い
- ・ 新旧住民が緩やかに交流できている
- ・ 海もあれば里山も川ある
- ・ 魚も野菜も卵もお肉も米も小麦も地元で手に入る！
- ・ 文化と歴史が混在する
- ・ 古い歴史にも最新の話題にも登場するってすごい！

以上の対立として

- ・ 就労人口の50%が市外に勤めている
- ・ ふじさわを生活の場としている人と安眠の場としている人の意識の差がある
- ・ 定年してから「市民」を自覚するする人がいる
- ・ 海、里山、川の有機的なつながりが薄い
- ・ ふじさわの文化や歴史が市民の誇りになっていない

#### 2. 交通ネットワーク

- ・ なんととっても市内にある「駅」の数がすごい
- ・ コミュニティバスが充実しつつある

- ・ その割りに藤沢駅がハブ化されていない
- ・ 情報のネットワークに比べて交通のネットワークは悪い

### 3. 住民の意識

- ・ 湘南特有の包容力のある市民意識
- ・ そのため「ふじさわ」に対するこだわりを持たない人が多いかも
- ・ 茅ヶ崎や鎌倉に比較して「ふじさわ」を自慢する人が少ない・・・と思う

### 4. 産業の発展

- ・ 研究開発には向いているが流通事情（道路）が悪いので製造業の進出はむずかしい。特に南部は既存の企業の存続もむずかしいのが現状
- ・ 市のコンセプトをしっかりと持ち企業誘致、産業支援を進めると同時に市民への周知も必要だと思います。
- ・ 片瀬、江の島地区の観光産業の回復はうれしい
- ・ 市は食欲に「えのしま」「しょうなん」「ふじさわ」で観光行政を進めるべきでしょう。

### 5. 地域文化の継承

- ・ 優れたコミュニティが複数存在するのがふじさわの特徴です。
- ・ 地域文化は伝統文化だけでなくコミュニティも継承されなければならないと思います。
- ・ 多様な地域文化を次世代に引き渡していけるような環境整備が重要！

おお・・・書いている間に進行役からたくさんのスレッドができてしまった^^;

※私は、藤沢ではなくふじさわという表現が好きなのでひらがなを使っています

-----  
表題：[mirai2011:56]利用と負担の原則だけではないと思います

日時：2009/11/01(日) 23:03:32

はじめまして。同じ明治地区ですね。よろしくお願いいいたします。

私は現在、明治地区くらしまちづくりの委員です。といっても、もちろん委員会を代表しているわけではなく、私が書いているのは全部個人の発言です。

- > たとえ高負担になっても、高福祉や医療の充実、育児支援の充実など
- > 安心、安全に住める、誰もが定住したいと思える施策が充実する。
- > 全体としての高負担をさけるためには、利用と負担の原則を徹底し
- > 各自の人生設計においてカフェテリアプランのように選択できる形
- > が必要。

利用と負担の原則ですか。しかし、それはぜいたくなサービスについて、利用と負担の原則というのはわかるんですが、生活の基本的な事、について、たとえば消費税とか、教育費の高騰だとか、といった形で、利用と負担の原則を強めてきた、という時代の流

れが、経済大国なのに貧しい国民が続出、少子化、という現在につながっているのだと思います。社会が存在した事による利益、これを社会に還元させるのが、所得税、住民税、法人税などだと思います。利用と負担の原則の前に、最低限のサービスは国に保障させ、国が出来ない事にも、市はやれる事はやる、という市であってほしいですね。

- ＞ 自動車社会から、より自然と親しみやすい自転車で走りまわれる
- ＞ 専用道路を少しでも長く設置してほしい。

賛成です。自転車はエコカーよりはるかにエコなのでですから考えて欲しいですね。シークロスの広々とした歩道も、自転車レーンを作れ、と私も微力ながら市に主張しましたが、通りませんでした。駐輪場についても、有料を拡充すると同時に、駅から遠い有料は値下げし、無料のものも作る、という市であってほしいです。

- ＞ (1) 今後の地域充実のためには、何もしないで、政治家や役人がやって
- ＞ くれるという意識を脱却し、個人ができることはやって、要望を
- ＞ 伝え、実行を監視するという市民意識の向上が必要。

政治家や役人の実行に関心を持つ、というのは大いに必要だと思います。

- ＞ (2) 自主・自立で町おこしをできるように、住民同士の結束を高め、
- ＞ 風通しのいいコミュニティとなって欲しい。
- ＞ そのためにも、地域経営会議が発展し、自治会活動などを取り込んで
- ＞ 青年、壮年、熟年者がそれぞれの持ち味を発揮し、一体的な
- ＞ 取組ができることが必要。

しかし、住民の一部の立場の人達が主体となる地域経営会議こそ、本当に住民全体の事を思っているのか？住民の多数に不利な決定はしないか？など、住民が大いに関心を持つべきだと思います。ここがおかしな決定をした場合は、市役所に対して批判するのと、同じように批判出来るんでしょうか？そもそも地域経営会議は、住民の苦情なり要望書なりを、受け取る義務すらあるのでしょうか？ところで、明治地区の地域経営会議は、次の第2回は、11月19日10時、という事から傍聴出来ないらしい、という話も非公式に聞いています。しかし部屋の狭さや傍聴規定がまだ無い、という理由らしいんですが、最も大事な、会議のあり方、方向性が決まるかもしれない第2回が、傍聴出来ない、という事は、残念です。

---

表題：[mirai2011:66]Re: 利用と負担の原則だけではないと思います

日時：2009/11/03(火) 00:42:49

- ＞ はじめまして。同じ明治地区ということでよろしく申し上げます。
- ＞ 負担と利用の原則と、最低限の保障はいずれも必要だと思います。

どこまでを最低限保証し、どこからは利用度に応じて負担してもらうかは難しいところもあると思います。ただ、いずれにしても、利用に対してどのくらいの経費がかかるのかということはしっかり把握しておく必要があると思います。そしてまずはそれをできるだけローコストでできるようにすることが必要です。同じ行政サービスに対して、

他の基礎自治体より安くできるようにするにはどうすればいいかを考えていく姿勢が大事なのでは。

-----  
表題：[mirai2011:80]Re: 利用と負担の原則だけではないと思います

日時：2009/11/06(金) 23:55:09

城南ですか。ちょっと遠いですが、明治地区でもそこだと、自転車で藤沢本町駅にも行ける距離かもしれませんね。藤沢本町駅は藤沢地区だと思うんですが、あそこは無料の大きな駐輪場がありますね。使っている何千人かの人達の事を思うと、大事に残しておいてもらいたいと思うものです。「それがどれだけ市民の生活を支えているのか」とかの、市民の生活の事も市はこれまで以上に重視してほしいですね。

あと、明治地区で気づいた事を、いくつか。

- ・ 3年ほど前、大型のショッピングセンターの隣に、もう一つ大型のショッピングセンターが出来て、その間を歩行者が行き来するので危険でしたが、数ヶ月のうちに横断歩道が出来、歩行者にとって対策が取られた事を覚えていています。
- ・ 一方今年、明治市民センター前の太い道路の、信号と横断歩道が、2カ所無くなり、歩行者は大回りしないと渡れなくなり、バス停も市民センターから離れた所になり、それは渋滞緩和のためらしいんですが、歩行者にとって不利益な出来事も覚えていています。
- ・ 駅前のデッキですが、完成してから、風とおし良いんですが風が強いと雨が吹きこむ事がわかりました。

=====

表題：[mirai2011:30]ここ10数年の藤沢らしさと、藤沢の未来課題

日時：2009/10/26(月) 20:31:55

まず、ここ10数年の藤沢らしさですか。

「財政が比較的良いのに住民に負担増」とか、「住民の反対が多数である疑いがあるのに無視」とかですか。

私が印象に残るのは、05年、湘南台無料駐輪場の廃止。07年、ごみ有料化。財政が比較的良いのに、市が発展すれば発展するほど住民の負担が増える不思議。誰のために鉄道を2線通して発展させたのか。90年代、地下鉄が地下を通らず高架を通る事への反対運動。05年、パチンコ店出店に反対する24000人署名運動。06年、4万人を超えた反対署名を集めたごみ有料化反対運動。それら市民の意見を押しつぶす機械。市役所。各議員の賛否を市民に知らせがらない議会。ちっとも住民の意見を聞かない審議会、委員会ばかり。そりゃそうだ、市のやりたい事に賛成したい人を集めるわけだから。そもそも、藤沢市に住民の意志を尊重する気などさらさら無く、一部の人だけで市の方針は決めてある、と考えていたほうがわかりやすい。03年、湘南市構想の時も、他市の市長選で反対派候補が勝ってくれなかったら、すでに藤沢市など存在していない

と思う。市民にとって、職場は横浜や東京に近いから比較的あるし、海は近いし、市役所にああせよこうせよ、と物言う人は、おそらく他市よりは少ないのかもしれない。そういう、温和な場所で市役所をやっているならば、終いには、市民の反対する事もどんどんやりたくなるのかもしれない。そりゃ、職員は人当たりは良いし、市民電子会議室のような、見栄えの良いものもある。しかし、それはこの好立地の場所の自治体なのだから、悪いけど当たり前。今度は川名に道路を通し、村岡に税金をつぎ込んで駅を作る気らしい。それらも、反対する住民が多数の疑いがあっても馬耳東風だろう。なぜ、住民の多数意見に沿った市政をする事が、仕事だという事に目覚めてくれないんだろう。

次に、藤沢の未来課題ですか。

今後も住民の反対が多数である疑いが濃い施策を強行しつづける藤沢の市役所、議会、審議会、委員会を止めるには、強力な住民投票制度ぐらいしかないだろう。しかし、そんな制度導入したら、市のやっける事が反対多数ばかりになる恐れもあるから、人選の形からして疑問の残る地域経営会議をもって、市民の意見を聞いた、という事にするのかもしれない。私も落ちました。公募のハードルも高い100人委員会の意見を見ると、今後の貧困世帯の増加、というのが、あまり意識されてない。国民年金ぐらいで、どうやって生活するのか。さらに言えば、非正規の増加、つまり正社員の応募の口を減らす、という事によって、国民年金払ってないが老後を迎える人続出、という事など、どの程度意識されているんだろうか。

藤沢の未来課題、というのは、「市長ら地位の高い立場の人が、自分の意見と違っても住民の多数意見の通りにやる度胸を持つ事」が1つ。そして、「現在の比較的いい財政を、将来の貧困世帯増加に対してどう残しておくか」、という事だと思います。たとえば、市営住宅の拡充とか、そして駐輪場ですかね。

=====

表題：[mirai2011:33]<進行> 藤沢らしさをテーマごとに考えてみる

日時：2009/10/26(月) 21:47:21

これまでに、8月の100人委員会で行われた意見交換の、各テーブルでの内容を書き留めた資料を共有フォルダにアップしていますが、これらを、テーマごとにまとめた資料が、9月の100人委員会では配布されています。公開資料からもれていたようですので、今、経営企画課の方からデータをいただき、共有フォルダにアップしました。

[http://net.community.city.fujisawa.kanagawa.jp/cpfiles/SHAREDFOlder/mirai2011/fujisawarashisa\\_20090918.pdf](http://net.community.city.fujisawa.kanagawa.jp/cpfiles/SHAREDFOlder/mirai2011/fujisawarashisa_20090918.pdf)

次のような構成になっています。

※これは、新しい総合計画の構成とは特に関係はありません。

#### 1. 全体

- 多様性、融合（複合）性 ●地区ごと・エリアごとの違い
- 「藤沢らしさ」はない？ ●「らしさ」について
- その他



## 2. 13 地区の様子

(各地区ごと)

## 3. 人・生活・行政

- 住みやすさ・おだやかさ ●気性・性格 ●市勢、置かれている状況、傾向
- 混在（認識・価値観・属性）と相互認知 ●行政・市民参加
- 変遷・変容 ●その他

## 4. 観光・“湘南”

- “湘南”というブランド・江の島・海 ●海以外の観光
- 藤沢の知名度について ●近隣地域との関係性 ●観光の状況 ●その他

## 5. 自然・景観・環境

- 魅力的な自然や景観、景色 ●変化・変容 ●気候 ●共生・共存 ●その他

## 6. 産業

- 第一次産業と藤沢ブランド ●農業の現状 ●地産地消
- 工業、企業立地 ●産業全般・多様性 ●その他

## 7. 医療・福祉

- 医療 ●家庭・子ども

## 8. 交通

## 9. 文化・歴史

## 10. 安全・安心

-----  
表題：[mirai2011:34]<進行> 藤沢らしさ～1. 全

日時：2009/10/26(月) 21:56:26

個別にスレッドを立てます。みなさんのご自由な意見をお待ちしていますが、100人委員会が出された内容に、「私もそう思う」と賛同したり、逆に、対になるような意見を投げかけられたり、あるいは便乗・発展してご意見を出されたい場合を考えて、PDFの中身をこちらに貼り付けておきます。どうぞ引用してお使いください。

### 1 全体

#### ●多様性、融合（複合）性

- ・それぞれの風情がある。多様性がある。
- ・都会である⇔田舎である
- ・なんでもあり、複合的であるのが藤沢
- ・一つにはならない
- ・海などの自然・都市・農村の融合
- ・寄せ集めという「らしさ」（旧藤沢と新藤沢など）
- ・多様性があることは良い。
- ・人・自然・文化のそれぞれにおいて多様性がある

- ・ 藤沢は広いし、ライフスタイルも多様
- ・ 「藤沢といってもお広うござんす」
- ・ 南北に広いため、テーマが豊富
- ・ 南部と北部にはそれぞれいいところがいっぱい！

● 地区ごと・エリアごとの違い

- ・ 自分の住んでいる他の地区のことを見ていない。
- ・ 南北には距離があり、交流が不十分。壁がある。
- ・ 南北格差・南北問題がある
- ・ 南は海、北は坂が多いなど、南北で地形に違いがある
- ・ 南北に長く、南北に差がある
- ・ 北は農村地帯、南は海の街、というイメージの違いがある
- ・ 北は里山、中部は緑、南は海
- ・ 藤沢はエリアごとに違いが大きい
- ・ 地域によって変わる。人によって変わる。
- ・ 地域差がある、海側山側など、地域差や地区ごとの「らしさ」があり、別個性。
- ・ 南は海、北は坂、南北で地形に違いがある

● 「藤沢らしさ」はない？

- ・ これといって強いものがないというのが「藤沢らしさ」
- ・ あまり「らしさ」がない
- ・ これ！といったイメージがない
- ・ 強いものがないというのが「らしさ」
- ・ 現状「藤沢らしさ」はない！
- ・ 個性がない！中途半端。
- ・ かつての「藤沢らしさ」が今はない

● 「らしさ」について

- ・ 「らしさ」を考えるのは難しい
- ・ 時代とともに変化している
- ・ 年代によって違う。一人ひとりの藤沢らしさがある。一つにはならない
- ・ 外から来た人のほうが特徴をとらえやすい。ずっと住んでいるとわかりにくい。
- ・ 藤沢らしさの前に、各地域（地区）の「らしさ」とは何か
- ・ 「昔の藤沢らしさ」「今の藤沢らしさ」「将来の藤沢らしさ」がそれぞれあるのでは

● その他

- ・ 外見はいい
- ・ 色でいうと、青&緑&オレンジ

- ・ 縦に長いのが藤沢らしさ
- ・ バランスがとれている
- ・ 地の利も気候も交通の便もよい
- ・ 横浜に比べ田舎ではないか（水産、農業、住宅地）⇔都会だ

-----  
 表題：[mirai2011:48]都市としての魅力は

日時：2009/10/31(土) 23:08:18

前に出した意見を再掲しつつ、付け加えてみました。

藤沢という都市としての魅力

- i. 東京や横浜のベッドタウンという位置付けの比率を下げ、地元産業を充実し、地元の人が仕事をする場を増やし、地産地消の比率をあげる。（農業、商店街の活性化など）  
これにより、自治体としての財源を増加させる。やはり、地元特産と言えるようなものがあるといいですね。富里のスイカマラソンに対抗して、梨マラソンみたいなイベントで売り込むみたいなことも必要かも。（スイカマラソンでは、給水所と同じように給スイカ所でスイカが食べ放題だそうです）
- ii. 40万人規模は道州制という基礎自治体として一番効率のいい人口規模と言われている。少子高齢化による人口減少をくい止め、この人口規模を維持し、できれば、世代が偏ることなく、若者から高齢者までが、魅力ある地域とする。民主党の子供手当がどうなるかわかりませんが、少子化を食い止めるなら、二人以上の産んだ人に必要な手当を出すなど、目的を実現できる形にすべきですね。
- iii. また、市役所など行政関連の業務をより効率化し、市民をお客様と考える地域経営を実践できるようにする。指摘されているように、市民の声を聞かない行政だとしたら、それは熱意のある人が市議になって、民主党がやっているように政治主導で手直ししていくしかありません。ゴミの有料化反対で40000人も署名が集まるなら、それをうまく投票に結びつけば、10人くらいの反対議員が当選します。
- iv. 大学が多くあるのはいいことだと思います。学生にも住みやすい学生街という雰囲気も大事ですね。開かれた大学で、地域の社会人も受け入れる社会人講座とか、図書館の公開とかができると生涯教育の場になると魅力が増します。
- v. 公営のスポーツ施設が充実している街。若い人からお年寄りまで、手軽にスポーツが楽しめる街であれば健康な人も増えるのでは。マリンスポーツも含め、太陽と緑の街というイメージにあったスポーツ都市というのはどうでしょうか。
- vi. 高齢化に対応して福祉が充実している街にしたい。老人の孤独死みたいなことが起こらないように、お金の面のケアだけでなく、グループホームのようなハード面と仲間作りや世代を超えてまとまるようなソフト面の取り組みが重要だと思うので、そのための財源とノウハウ作りを優先すべきだと思います。

-----  
表題：[mirai2011:57]市民はお客様では無いという考え方も

日時：2009/11/02(月) 00:00:53

- ＞ (3) また、市役所など行政関連の業務をより効率化し、市民をお客様と
- ＞ 考える地域経営を実践できるようにする。

市民をお客様というのは、ちょっと私はひっかかるんですね。市民がお客様だとすると、市役所に意見を言うとお店のメニュー構成に意見を言う客のように、当店のメニューが嫌なら他の店をお探し下さい、と言われかねないですよ。これでは主客転倒のような気がします。お客様というより、主権者。市役所の方針自体に口が出せるのが、市民だと思います。

- ＞ ゴミの有料化反対で40000人も署名が集まるなら、それを
- ＞ うまく投票に結びつければ、10人くらいの反対議員が当選します。

私は市議も落ちましたが、1つの選択肢だけで選挙にはならないと思いますし、ハガキ大のスペースの選挙広報を見ても、情報提供が全然出来ない現在の選挙制度、というのもあると思います。議会だよりも、各議員の賛否どころか、会派ごとの賛否すら載せない、という現在の議会によって、ますます、現在の議会が市民の意見を代表しているのか、という疑問は強まります。

- ＞ 老人の孤独死みたいなことが起こらないように、お金の面のケア
- ＞ だけでなく、グループホームのようなハード面と仲間作りや
- ＞ 世代を超えてまとまるようなソフト面の取り組みが重要だと
- ＞ 思うので、そのための財源とノウハウ作りを優先すべきだと
- ＞ 考えます。

そうですね。現在、介護の問題というのは、家族のある人の、問題が語られている事が多いですよ。家族の無い人はどうなるのでしょうか。藤沢には、今後未来、空家が多くなっていくと思うんですが、こういうのを、市が活用して、グループホームのような、互いに看取っていくような安価な施設、というのでも、出来ないのかな、と思っています。

-----  
表題：[mirai2011:35]<進行> 藤沢らしさ～2. 13地区の様子

日時：2009/10/26(月) 21:58:51

続いて、13地区の様子です。他の項でも、各地区にはそれぞれの特色があるということが話されていますが、そんな各地区の様子を考えるには、こちらに返信してください。

-----  
2 13地区の様子

●片瀬

- ・ 片瀬中学校の水はけは悪い
- ・ 建築協定 片瀬山（鵜沼松が岡）→あちこちで指定
- ・ 業者の説明会→維持されている
- ・ 江の島に何も無い
- ・ 片瀬山はよそ者の集まり。住宅としてはよし。アットホーム。

●鵜沼

- ・ ミニ開発
- ・ 松林
- ・ 道が狭い

●辻堂

- ・ 茅ヶ崎・辻堂というとらえ方
- ・ 再生途中
- ・ 緑が少ない 木を植えていない

●村岡

- ・ 旧国鉄跡地—新駅開発（昔活動あり）
- ・ 武田薬品←鎌倉に求められている？

●藤沢

- ・ かつては自然があったが今はない

●明治

- ・ 関東特殊製鋼の撤退跡地
- ・ マンション、商業施設
- ・ 急激な変化（人口、交通）
- ・ 交通、トラックの激増

●善行

- ・ 荏原、開発（宅地）、マンション
- ・ 人口増（保育園、小中学校、交通、環境などの変化。自治会の結）
- ・ 山、坂のまち

●湘南大庭

- ・ ライフタウンの交通は悪かったが便利になった
- ・ 市内西北部に広がる住宅地

●六会

●湘南台

- ・ 若い親、子育て世代が増えている
- ・ 新しい街
- ・ 駅の両側にパチンコ屋
- ・ 高校生が溜まる場所
- ・ ひろた幼稚園の庭に芝生植えた

- ・ 歴史・文化よりも住み良さ重視
- 遠藤
  - ・ 3大祭り～竹炭（4月）、アジサイ（6月）、彼岸花（9月）
  - ・ 石川・遠藤地区は里山と緑のまちづくりとして活動している
- 長後
  - ・ 隣近所・新旧がうまく混じりあう
  - ・ 高齢化
- 御所見
  - ・ 農業
  - ・ みやじ豚
- その他
  - ・ 北部の空き地は貴重な財産
  - ・ 北西部にベッドタウン←よそ者を受け入れる土壌になっている

---

表題：[mirai2011:41]明治地区について

日時：2009/10/26(月) 23:18:30

実はさきほどまで自分が住んでいる城南4丁目は13地区のどこであるのか、13地区とはそれぞれどこなのかを知らなかったので、市のホームページで確認しました。

住所でいうと、辻堂神台1～2丁目、辻堂新町1～4丁目、羽鳥1～5丁目、城南1～5丁目です。面積的には、2.92KM2と一番小さいエリアですね。国道1号のバイパスと旧道が走っていますが、街道沿いには、大きな施設などもなく、通過地点のようで寂しいです。

- ・ 旧道沿いは、昔からの住宅が多いようですね。
- ・ メルシャンの工場があるので、近辺ではワインの香りがします。辻堂あたりからは、国道沿いらしくなっているようですが。
- ・ 湘南モール、MAXができて、車の流れが変わったようで、土日などは周辺に渋滞ができて大変みたいですね。
- ・ 引地川の横をジョギングすることもあるのですが、海まで続いていて気持ちいい場所だと思います。
- ・ 自転車も走るので、もう少し広いといいなと思っています。

---

表題：[mirai2011:54]Re: <進行> 藤沢らしさ～2.13地区の様子

日時：2009/11/01(日) 21:48:15

●鵜沼

ですか。海岸を開発し過ぎ。

●村岡

> ・ 武田薬品←鎌倉に求められている？

これ、意味がわからないんですが、今建てようとしている研究所の事なら、これは神奈川県と藤沢市が推進しているのであって、鎌倉に求められている、という話は聞いた事は聞いた事無いです。

●湘南台

お金が無いと自転車で駅に行けない町に。

●明治

お金が無いと自転車で駅に行けない町。

---

表題：[mirai2011:62]<進行> Re: <進行> 藤沢らしさ～2. 13 地区の様子

日時：2009/11/02(月) 22:25:52

(ホームページの開始時刻が違っていた件、私からも市の人にお伝えしました。)

> ●村岡

>> ・ 武田薬品←鎌倉に求められている？

> これ、意味がわからないんですが、

> 今建てようとしている研究所の事なら、

> これは神奈川県と藤沢市が推進しているのであって、

> 鎌倉に求められている、という話は聞いた事は聞いた事無いです。

私も 100 人委員会のお手伝いをしたので補足をするので、書いてあった言葉の意味は、ご推察のとおりです。「鎌倉」とはとっても、鎌倉市や鎌倉全土ではないでしょうけれど。ちなみに、私も今まで聞いたことのある話ではありませんでした。

いろいろなところでいろいろな話があるものですね。

13 地区のそれぞれの様子など、話を聞くほどに、調べるほどに、どんどん新しいことを耳にするような気がします。何十年も住んでいれば多少は違うのかもしれませんが…。

---

表題：[mirai2011:36]<進行> 藤沢らしさ～3. 人・生活・行政

日時：2009/10/26(月) 22:01:37

続いて、「人・生活・行政」です。

# ご発言の中には、すでにこのテーマにかかわる内容が出されておりましたね。100 人委員会ではこんな形で意見が出されておりました。引き続き、お考えを聞かせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします！

---

3 人・生活・行政

●住みやすさ・おだやかさ

- ・ 住みやすい。ずっと住みたい街。終の棲家にしたい。暮らしやすい。
- ・ 人がガサガサしない。人がいいので住みやすい
- ・ 藤沢で育った人はいずれ戻って住みたいまち

- ・ 女性が住みやすい街
- ・ お年寄りも子供も OK
- ・ 平和
- ・ よそ者を受け入れる。外から来た人も馴染む。
- ・ 安心して暮らせる（病気、子育て）受け入れ態勢がある
- ・ 海と里山があって住みやすい
- ・ 気候が温暖なため、人も温厚？人も気候も温暖。人も気候も自然も恵まれている
- ・ 災害少なく住みやすい
- ・ 肩ひじ張らないで生活できる
- ・ 身軽に歩ける町
- ・ 全体的に静かな空気。穏やか。
- ・ 住むところが選択できる

●気性・性格

- ・ あまり保守的でない。人柄がいい
- ・ アクのなさが良い
- ・ オープンでウェルカム、オールマイティ
- ・ おとなしい
- ・ まだまだ人情がある
- ・ よそから来ても住みやすいのは互いに無関心だから？
- ・ 共通するものとして、豊かさ、おおらかさ、明るさ
- ・ 自己主張に欠ける
- ・ 素直さ
- ・ 藤沢の人はやさしい
- ・ 比較的都会なため、ハイソ（＝ハイソサエティ、上流階級）な人が多い
- ・ インテリジェンスが高い。教育程度が高い。
- ・ お年寄りが元気

●市勢、置かれている状況、傾向

- ・ 人口 40 万。人口が急激に増えた。
- ・ 男女半々の人口数
- ・ 人口の割に土地が狭い
- ・ ベッドタウン（特に北西部）。住宅地。
- ・ 地味な市だが健全
- ・ 地価が高い
- ・ 都市（東京・横浜）にも近く、観光地（箱根・伊豆など）にも近い
- ・ 東京で仕事をする人が多い
- ・ サラリーマン世帯中心



- ・ 小中学生の体力が弱い
- ・ 田園風景や田舎の雰囲気がある
- ・ 北と南が駅などで分断されている
- 混在（認識・価値観・属性）と相互認知
  - ・ 住民は、新しい人と古い人の両方がいる
  - ・ 昔ながらの歴史があるところと若い人が入ってきた勢いとはある
  - ・ 新旧の住民が共存できている⇔まだまだ
  - ・ 人種のるつぼ
  - ・ 都会的な人と昔ながらの農家（地の人）との共存、二分、微妙な混じり（壁あり）
  - ・ 都会だ⇔田舎だ
  - ・ 老いと若い混在
  - ・ 馬鹿にする（本家・土着の人が／を？）
  - ・ 海の藤沢を意識しない人も多い。
  - ・ 北部の人は南部の特産品（生しらす）をあまり知らない・食べない。
  - ・ 地域の良さが分かっていない・地元のことを知らない
  - ・ 隣の町内のことを知らない
- 行政・市民参加
  - ・ 全国の中でもボランティアが盛ん？
  - ・ 市はボランティアや市民力に頼りすぎ？
  - ・ 行政の力で住みやすくなっている
  - ・ 行政を動かす市民パワーがある
  - ・ 広報ふじさわは市役所からの一方的な情報提供に終始
  - ・ 市民の意見がなかなか通らない、聞いておきながらやらない。
  - ・ 市民意識が高い
  - ・ 自治会に話が下りてこない
- 変遷・変容
  - ・ 地域のエゴが残っていた
  - ・ 昔は南の方はガラが悪いと言われた
  - ・ 地の苗字が減ってきている
  - ・ マンションが多い（花火が見えなくなった）
  - ・ 藤沢の南は、昔良し、今けばけばしい。行政は何を考えてるのか。
  - ・ 首都圏のベッドタウンの変化がある
- その他
  - ・ 人生の選択がたくさんある
  - ・ 小さくまとまっている
  - ・ 居場所がない

- ・ 町内・子供会・隣近所が大事だが、一回関係が切れてしまうと修復が難しい

---

表題：[mirai2011:50]Re: <進行> 藤沢らしさ～3. 人・生活・行政

日時：2009/11/01(日) 18:41:58

100人委員会での意見にも出ていることですが「混在」という言葉は、藤沢を語るとき  
のキーワードのように思っています。

- ・ 農業と工業と都市
- ・ 暮らしの場所と活動(仕事・勉強)の場所と観光の場所
- ・ 海と丘 (山までいきませんが…)
- ・ 新と旧

上のような互いに相異なる要素が、とても狭いエリアにぐっと凝縮・混在しているのが藤沢市の一つの特徴ではないかと思うんです。この混在は、メリット(特長)にもなりますし、デメリットにもなりますよね。藤沢を生活の場(または訪れる人)で、当然価値観も求めるものも変わってくる訳です。そうした違った価値観を持つ人同士がぶつかってしまえば、当然、気持ちいい生活や時間を送れなくなってしまうように思います。混在が進む街だからこそ、相互理解やそれを促す交流・議論の場、多様な意見をくみ取り具体化するシステム作りが重要なように思います。将来は、ただ混じわって存在するだけの、混在から、共に存在する共存のまちふじさわになったら素敵だなあと一個人としては、思う次第です。まとまらない、意見を恐縮です。

---

表題：[mirai2011:63]<進行> Re: <進行> 藤沢らしさ～3. 人・生活・行政

日時：2009/11/02(月) 22:41:33

> 「混在」という言葉は、藤沢を語るとき  
のキーワードのように思っています。

- > ・ 農業と工業と都市
- > ・ 暮らしの場所と活動(仕事・勉強)の場所と観光の場所
- > ・ 海と丘 (山までいきませんが…)
- > ・ 新と旧

> 上のような互いに相異なる要素が、とても狭いエリアにぐっと凝縮・混在しているのが藤沢市の一つの特徴ではないかと思うんです。

そうですね。このあたりはおそらく多くの藤沢市民の共通認識でしょうね。

- > この混在は、メリット(特長)にもなりますし、デメリットにもなりますよね。
- > 藤沢を生活の場(または訪れる人)で、当然価値観も求めるものも変わってくる訳です。そうした違った価値観を持つ人同士がぶつかってしまえば、
- > 当然、気持ちいい生活や時間を送れなくなってしまうように思います。

うーん。確かに。例えば、静かで穏やかな暮らしを藤沢に求める人と、首都圏からの

観光客もたくさん誘引できるにぎやかなまちの姿を藤沢に求める人とは、両方存在しそうですね。ご発言にもありました。

- ＞ 混在が進む街だからこそ、相互理解やそれを促す交流・議論の場、
- ＞ 多様な意見をくみ取り具体化するシステム作りが重要なように思います。
- ＞ 将来は、ただ混じわって存在するだけの、混在から、
- ＞ 共に存在する共存のまちふじさわになったら素敵だなあと
- ＞ 一個人としては、思う次第です。

前に書きましたが、“合州国”のイメージを私はなんとなく持っています。全部が解決するわけではありませんが（例えば鵠沼という一地域でも、まちや暮らしに求めるものは1つの姿ではないだろうし）、ある程度、エリアごとに、ニーズに合わせた特徴づけができる仕組みがやはり必要なのだろうと思います。混在から共存というのは、素敵ですね。そういえば、片瀬地区の方々と一緒に「食」についてのおしゃべりをしていたときに、御所見や遠藤でとれる野菜が食べたいわ〜という話が出ました。「同じ市内にあんなに野菜作ってるところがあるんだから、せっかくだから毎日食べたいわよね、おいしいんでしょし。」と。共存のメリット、それに対するニーズですね。

-----  
表題：[mirai2011:70]Re: <進行> Re: <進行> 藤沢らしさ～3. 人・生活・行政

日時：2009/11/03(火) 10:21:39

- ＞＞ 「混在」という言葉は、藤沢を語る時のキーワードのように思っています。
- ＞＞ ・農業と工業と都市
- ＞＞ ・暮らしの場所と活動(仕事・勉強)の場所と観光の場所
- ＞＞ ・海と丘(山までいきませんが…)
- ＞＞ ・新と旧
- ＞＞ 上のような互いに相異なる要素が、とても狭いエリアにぐっと凝縮・混在して
- ＞＞ いるのが藤沢市の一つの特徴ではないかと思うんです。

「混在」が藤沢のキーワードであることは私もそう思います。加えさせていただけるなら、それぞれ歴史ある村が昭和の町村合併により「藤沢市」となっている、ということもあります。この歴史がそのまま「暮らし」に引き継がれているんですね。

- ＞ そうですね。
- ＞ このあたりはおそらく多くの藤沢市民の共通認識でしょうね。

「共通認識」については私は疑問に感じているんですよ。実は多くの市民のかたは意識していないのではないかと思います。むしろ、日常で意識する必要性がない。この会議室や100人委員会などで他の人の意見を聞いて始めて意識する人もいるかもしれない・・・それが、良い、悪い、ということではなく、市民の多くの人が「藤沢市全体」のことをもっとイメージできるような「もの」「場」が必要なのではないかと思います。

- ＞＞ この混在は、メリット(特長)にもなりますし、デメリットにもなりますよね。

- >> 藤沢を生活の場（または訪れる人）で、当然価値観も求めるものも変わって
- >> くる訳ですし。そうした違った価値観を持つ人同士がぶつかってしまえば、
- >> 当然、気持ちいい生活や時間を送れなくなってしまうように思います。

> うーん。確かに。

- > 例えば、静かで穏やかな暮らしを藤沢に求める人と、
- > 首都圏からの観光客もたくさん誘引できるにぎやかなまちの姿を
- > 藤沢に求める人とは、両方存在しそうですね。

まずは、藤沢の「多様性、混在、可能性」なんかを理解してから、「観光地としての藤沢」とか「産業都市藤沢」とか「藤沢の農業」などを学んでいく必要がありますね。

うーん、それは大変だ・・・

- >> 混在が進む街だからこそ、相互理解やそれを促す交流・議論の場、
- >> 多様な意見をくみ取り具体化するシステム作りが重要なように思います。
- >> 将来は、ただ混じわって存在するだけの、混在から、
- >> 共に存在する共存のまちふじさわになったら素敵だなあと
- >> 一個人としては、思う次第です。

時間がかかるからこそ「システム」が必要ですね。それも藤沢に住んでいる人だけではなく、通勤や通学、観光で来る人なども参加できるとすばらしい。

- > 前に書きましたが、“合州国”のイメージを私はなんとなく持っています。
- > 全部が解決するわけではありませんが（例えば鵜沼という一地域でも、
- > まちや暮らしに求めるものは1つの姿ではないだろうし）、
- > ある程度、エリアごとに、ニーズに合わせた特徴づけができる仕組みが
- > やはり必要なのだろうと思います。

今の地域経営会議の理想系かもしれないですね。しかし私はそこに危うさを感じています。地域が独立して問題解決をすることは賛成ですし、間違いなく必要なことですが、同時全体を見守る仕組みがしっかりしないと問題がありそうです。たとえば、別スレッドで議論している「海の通年リゾート」鵜沼地区で「とんでもない、うるさいばかりだから反対ですよ」となったら・・・御所見地区では「観光の恩恵は受けない、引き受けるゴミは増える・・・反対ですな」となったら・・・

地域の課題をしっかり受け止め、藤沢市として問題解決する仕組みこそ大事なんじゃないかと思うのです。そしてそれは「行政」だけの仕事ではなくそれこそ「市民で解決」すべきことなんじゃないかなあと思うのです。

- > 混在から共存というのは、素敵ですね。
- > そういえば、片瀬地区の方々と一緒に「食」についての
- > おしゃべりをしていたときに、
- > 御所見や遠藤でとれる野菜が食べたいわ〜という話が出ました。
- > 「同じ市内にあんなに野菜作ってるところがあるんだから、

- ＞ せっかくだから毎日食べたいわよね、おいしいんでしょうし。」と。
  - ＞ 共存のメリット、それに対するニーズですよ。
- 他者を思いやり、理解する気持ちでもありますね。

---

表題：[mirai2011:53]未来課題 市民が参加する委員会が市民の意見を反映する事  
日時：2009/11/01(日) 20:38:04

[mirai2011:36] <進行> 藤沢らしさ～3. 人・生活・行政

- ＞ ・ 行政を動かす市民パワーがある

ちょっと私には信じられません。住民が集まって行政を動かしたとか、行政の方針をひっくり返した、なんて話は、私が情報に疎い事もありますが、ほとんど記憶に無いです。しいて言えば、2年近く前でしたか、片瀬山に斜面マンションの計画があったとき、あの時は、周辺住民の方が多数、業者の説明会に集まって、反対しておられるのを見学しましたが、その後、噂に聞くには、市がその土地を買う事で解決した、という話ぐらいですか。ただし、それは市が川名からの道路を通すためでは、なんて噂まで聞きますね。あと、それ以前に、どうしてマンション問題は市のあちこちで起こり続けるのか、藤沢らしさとしてのマンション問題多発、それがこのままでいいのか、という未来課題もあるような気もなりますが。市民が参加する委員会はたくさんあるし、そういった事が、市民パワーだと定義すれば、市民パワーがあるという事になるのかもしれない。しかし、この市民が参加する委員会が、現在、十分に市民の意見を反映出来る状態とは思えず、これも未来課題かもしれません。

1、委員会の事について、委員会外の市民から委員が意見を聞く事が困難。

私もいくつかの委員会に入って分かりましたが、まず、委員会が決めようとする事など、委員会の事について、委員が市民に広く意見を問う事自体が困難でした。委員会外で書いたりすると、議事録になる前に書くな、とかなんとか圧力がくるわけです。そもそも、藤沢市にこれだけ委員会があり、各委員が本気で40万市民のためを考えて議論を闘わせているとしますと、たとえば、委員会がこんな事を決定しかかっていますが、これは40万市民の皆さんから見たらどう思いますか？などと問う委員が、この市民電子会議室にも何人も現われてもおかしくないと思うのですが、そうはなってません。それから考えても、各委員が自由に言論出来る状態なのかどうか、疑問は沸きますね。これは、地域経営会議にもあり得る事と思います。

ですから、もっと開放的になる事、だと思えます。

2、無給の委員に、委員会外の市民の意見を反映する余裕などあるのか？

私も、委員会はアンケートなどで市民の意見を問え、と主張した事はありますが、ほとんど通りません。それもしょうがないとは思いました。たとえば、何か、ボランティア活動もしている組織だとすると、何か市民から意見を問うて、もしも、そのボランティア活動自体に反対する市民が多数だったらどうするのか、という不安もあるでしょう。それは地域経営会議にも有り得ますね。また、たとえば何らかの案について検討する委

員会だとすると、その案の内容とかに、市民にアンケートなどで意見を問うたとして、案の内容の一部について委員と反対の意見が多数という結果が出たら、無給で検討してきた委員達が結果を尊重できるのか。これは、100人委員会にも有り得ますね。ですから、最初からある程度、アンケートなどは市が行うような方向など、考えておくべきかもしれません。

-----  
表題：[mirai2011:37]<進行> 藤沢らしさ～4. 観光・“湘南”

時：2009/10/26(月) 22:04:49

続いて、「観光・“湘南”」についてです。

#あまり一度に出しても、読まれる側も大変だと思いますので、今日はここまでにします。時間はたっぷりありますので、興味のあるところからじっくりとお考えいただければと思います。

-----  
4 観光・“湘南”

- “湘南” というブランド・江の島・海
  - ・ 海
  - ・ 湘南のイメージが強い。湘南のへそ、中心。
  - ・ 湘南とは？
  - ・ 湘南と藤沢の違いは？湘南というとイメージが上がる
  - ・ 車の湘南ナンバーはかっこいい。人気がある
  - ・ 湘南海岸には観光客が多い。活気がある一方でごみなどの問題も。
  - ・ 「湘南に暮らしている」というと聞こえがよい
  - ・ 湘南と湘南台は違う
  - ・ 海岸への観光客は増えている（海に来る人が 400 万人 湘南に来る人 1400 万人）
  - ・ 目玉は江の島。七福神・神社など。
  - ・ 市南部の観光は海
  - ・ 漁港（片瀬漁港の朝市）、灯台、海のイメージが強い
- 海以外の観光
  - ・ 藤沢の観光スポットは海ばかりか？そうではない。
  - ・ バーベキュー
  - ・ 遠藤 3 大祭りを北部観光に…竹炭（4 月）、アジサイ（6 月）、彼岸花（9 月）
  - ・ 北部には江の島は関係ない
  - ・ 北部の農業
  - ・ 藤沢の歴史を踏まえた行事・祭り（遊行寺）
- 藤沢の知名度について

- ・ 湘南は知られていても、藤沢は知られていない？⇔特に知られていなくともよい
- ・ 「藤沢ってどこ？」と聞かれることがある。藤沢の知名度は低い。
- ・ 名前よりも内容が大事。内容が伴えば自然と有名になるのでは。
- ・ 江の島の知名度は高いが、藤沢にあることを知られていないことが多い
- 近隣地域との関係性
  - ・ 鎌倉への観光客の半分が江の島や江ノ島水族館に来ている。江の島と鎌倉はセット。
  - ・ 鎌倉ほどではない・茅ヶ崎には負けている⇔勝ち負けではない
  - ・ 茅ヶ崎は芸能人で有名、鎌倉は修学旅行生も多く古都で有名
- 観光の状況
  - ・ 観光地のニーズの変化
  - ・ 観光面のサービスが他都市に比べて劣る
  - ・ おみやげがない（ハトサプレーは鎌倉。たたみいわし？）
- その他
  - ・ 「湘南」のイメージにとらわれることはない
  - ・ 海岸・江の島エリアへの観光客は、夏や初詣に集中している

---

表題：[mirai2011:43]海を通年のリゾートに

日時：2009/10/27(火) 23:24:27

観光の目玉は やはり、江ノ島と湘南の海でしょうか。夏のイメージは強いですが、通年で楽しめるようなイベントを行っていきたいですね。江ノ島全体でのウォークラリーとか、熱海の花火のように、冬での花火を行うとか、いろいろなことが考えられると思います。そのためにも、駐車場の整備、拡張とかインフラ整備も必要となるかもしれませんね。個人的には、水上バイクをやってみたいので、そういうレンタルとか係留するスペースなどを作って欲しいですが。江ノ島水族館も人気のようですね。それから、海沿いには、デザイン的に統一感のあるお店が立ち並ぶようにしたいです。どこにでもあるファミレスではなく、地元にはかないお店などがもっとできて、地元の食材を使っておいしい食事を提供するなど、まだまだ開発の余地はあると思います。

---

表題：[mirai2011:45]Re: 海を通年のリゾートに

日時：2009/10/29(木) 14:40:12

- > 個人的には、水上バイクをやってみたいので、そういうレンタルとか
- > 係留するスペースなどを作って欲しいですが。

私も賛成です。普通の海ではなかなかできないことを手ごろな価格で利用できるとますます海としての観光地としてPRできると思いました。しかしちゃんと安全面でのケアをし、事故の起こらないようにすることも大切ですよね。

あと遠藤3大祭りを北部観光に…という内容がありました。私はこのお祭りの名前を聞いたことありませんでした。竹炭(4月)、アジサイ(6月)、彼岸花(9月)竹炭のお祭りは2001年から行われているようで今年で8回目とのことでした。

[http://www.townnews.co.jp/020area\\_page/03\\_fri/01\\_fuji/2009\\_2/04\\_10/fuji\\_top2.html](http://www.townnews.co.jp/020area_page/03_fri/01_fuji/2009_2/04_10/fuji_top2.html)

もっとこの3つのお祭りで藤沢をPRできたらと思います。

---

表題:[mirai2011:51]Re:海を通年のリゾートに

日時:2009/11/01(日) 18:54:52

海を通年のリゾートにというお話に刺激を受けて発言させていただきます。たび重なるスポーツネタで恐縮なのですが(笑)海で行う通年のイベントとしては、ビーチスポーツを活用する方法もあるかなと思います。ビーチバレーやビーチテニス、ビーチサッカーやビーチアルティメット(フリスビーを使ったスポーツ)などなど。いろいろありますし、どれも結構手軽に楽しめるスポーツです。それに鵜沼海岸などは、防波堤?が観客席としても機能して試しているほうも楽しみやすいのですよね。個人的には、鵜沼海岸でビーチアルティメットの大会に出たことがあるのですが、とっても楽しかったですし、ビーチスポーツを楽しめる環境を(ハードは海と海岸という絶対的な条件がそろっているわけです)これからもっと整えていけると、楽しみが増えそうだなと思います。

---

表題:[mirai2011:55]何のため?→海を通年のリゾートに

日時:2009/11/01(日) 22:00:04

海を通年のリゾートに、いいですね。もちろん大賛成なのですが、少し問題提起をします。これまでも電子会議室で何度か話題となったことですが、湘南海岸がリゾート化するにつれ、住民の方々には迷惑と感ずることも多くなっているようです。たとえば、海岸の花火や夏の時期夜遅くまで営業する海の家に対していろいろ意見がありました。古くは、暴走族の騒音とかも。海を通年のリゾートにするためには、こうした地域住民のかかえる課題も同時に解決していかなければなりませんね。

もしかしたら、片瀬や鵜沼地域に住んでいる方々は「とんでもない!冬くらい静かに生活させて欲しい」と思っているかもしれません。

何のために、海を通年のリゾートにするのでしょうか  
その辺をもう少し掘り下げることが必要なのではない

でしょうか?

---

表題:[mirai2011:67]通年リゾートの意味合いは

日時:2009/11/03(火) 00:52:55



問題提起ありがとうございます。

私の通年リゾートの趣旨は、夏だけは、観光客がどっときて冬は閑古鳥がなくような地域にしたいということ。夏に海水浴場に行くと、浜の近くの家が、駐車場を1000円とかで貸出したりしていますよね。また、夏だけは特別料金とかという観光地になってしまうと、一度はきても二度といきたくないというイメージができたりすると思います。

通年で観光客が来てくれれば、従業員の雇用なども安定して行えますし、いついっても充実したサービスが受けられて、ちょっとしたリゾート気分が味わえるという形になれば、観光産業もよくなっていくという発想です。

正直、地元の人々の迷惑までは考えていませんでしたが、それはなくす工夫をしていくしかないですね。暴走族やチンピラが出没するような、リゾートでは安心して楽しむことはできないので、それはそれで取り締まるような仕組みを作って、悪影響を極力少なくすることに知恵を出すということだと思います。

---

表題：[mirai2011:71]Re: 通年リゾートの意味合いは

日時：2009/11/03(火) 11:00:54

- > 通年で観光客が来てくれれば、従業員の雇用なども安定して行えますし、
- > いついっても充実したサービスが受けられて、ちょっとしたリゾート気分が
- > 味わえるという形になれば、観光産業もよくなっていくという発想です。

私も藤沢市が今以上に観光産業に力を入れていかなければならないと思っています。

藤沢市が地域として経済を発展させるためには観光も立派な資源です。これからは観光を資源として大切に発展させなければなりません。同時に、農業や商業、工業などの既存産業も発展させていかなければなりません。

「海を通年リゾートにする」ことの必要性、重要性を地元の方やもちろん、市内の他地域の方にも理解してもらう必要がありますね。反対に、北部の農業に対しても「海」同様の「発展する仕掛け」が必要なのだと思います。北部地区では「観光農園」というのがあるのをご存知ですか？藤沢は葡萄や梨など、果物も有名なんです。海で遊んだ観光客をそのまま北部地区へ誘導する工夫も必要ですね。同じように、地元住民の迷惑感をなくす工夫、藤沢駅周辺の商業者にも恩恵が回る工夫・・・各地域のことを市全体を見据えて考えることがとても重要だと思います。「海が通年リゾート」になることによって、市民の暮らしが良くなるのがイメージできれば、きっと実現するのではないのでしょうか？

---

表題：[mirai2011:49]ご当地グルメになるか？藤沢炒麺

日時：2009/11/01(日) 11:05:51

10月31日の朝日新聞に「藤沢グルメは炒麺」とのタイトルで記事が出ていました。藤沢産の小麦、野菜、やまゆりポークを使用した炒麺をNPO法人与藤沢市が協力し

て開発したとのこと。市役所の食堂でも11月から水曜日に期間限定で販売すること。一度味わってみたいですが、市役所の方で食べたら、感想をアップしてください。

---

表題：[mirai2011:64]<進行> Re: ご当地グルメになるか？藤沢炒麺

日時：2009/11/02(月) 22:54:31

藤沢炒麺の記事のご紹介をありがとうございます。

- > 10月31日の朝日新聞に「藤沢グルメは炒麺」とのタイトルで記事が
- > 出ていました。
- > 藤沢産の小麦、野菜、やまゆりポークを使用した炒麺をNPO法と
- > 藤沢市が協力して開発したとのこと。
- > 市役所の食堂でも11月から水曜日に期間限定で販売すること。
- > 一度味わってみたいですが、市役所の方で食べたら、感想をアップして
- > ください。

実は私も関係者の一人なのですが、この藤沢炒麺の展開にふれて、藤沢の農業の広さと厚さとパワーをいっぱい感じています！やはり湘南海岸や江の島のイメージが強いのでそちらが先行しますが、土が育てる美味しい魅力の部分も、まだまだ私が知らないところがたくさんあるような気がしています。

藤沢産の小麦は、ここ数年また栽培されているようですが、かつて(昭和30年頃?)、つくられていたようですね。今小麦を作っているらしい「さがみ地粉の会」という団体の農家の方によると、「子どもの頃食べた、いい香りのする地粉うどんが食べたいネエ」という思いも手伝って、地粉うどんをつくろうという話にもなったようです。メインの理由は、遊休農地の活用だったと思いますが、地粉うどんに加え、地粉の藤沢炒麺や地粉パンなどと、どんどん食べるシーンが広がっていくと、藤沢の農がより豊かになるように思います。10月25日号の広報ふじさわには、市民の「小麦サポーター」の募集という記事が載っていたかと思います。市民も参加して、藤沢の産業を支えていく、ということかっこいいですが、地元の旨いものを、市民がちゃんと知っていて応援もするし、食べられる、というのがなにより幸せなことだと思います。

あ、話を戻します。市役所食堂で召し上がった方、ぜひ感想をアップしてくださいね！

---

表題：[mirai2011:65]安心・安全な農業になれば

日時：2009/11/03(火) 00:34:08

藤沢炒麺の開発にかかわっていたんですね。国産の小麦粉は少なくとも、安全・安心なものだといいですね。私の知り合いで、無農薬の農業を農家にお願いし、できたものを宅配して販売している人がいます。安全な食べ物を、地元で手軽に買えるようになるといいですね！

表題：[mirai2011:74]<進行> 藤沢らしさ～5. 自然・景観・環境

日時：2009/11/06(金) 01:34:49

やはり、語る人が増えると藤沢の姿の見え方も増えていくのだなあと思いながら、興味深く発言を拝見しています。10日ほど前に、100人委員会で出された藤沢らしさ（まさにおっしゃるように、“強み”と言い換えられるものでもあるかもしれません）について、引用する用に貼り付けましたが、その続きをご紹介します。

-----

## 5 自然・景観・環境

### ● 魅力的な自然や景観、景色

- ・ 海・湘南海岸
- ・ 海があることによるスマートでカッコいいイメージ？
- ・ 海があるという幸せ
- ・ さわやかな潮風～
- ・ 蛍が飛ぶ町
- ・ 自然に恵まれている・自然の魅力がある
- ・ 石川丸山、清水、川名の3つの大切な谷戸。
- ・ 藤の花
- ・ 緑
- ・ 白砂青松
- ・ ダイヤモンド富士
- ・ サンセット ビュー（夕焼けの景色）
- ・ 畑や田んぼが多くある街
- ・ 豊かな環境に抱かれたまち
- ・ 里山みどりの街並み

### ● 変化・変容

- ・ かつては、ウナギとりなどできた川、凍ったらスケートのできる田んぼがあった
- ・ 汚かった海がきれいになった
- ・ かつて泡（あぶく）だらけだった川が、きれいになり、川底が見えるようになった。
- ・ 昔に比べたらきれいになった

### ● 気候

- ・ 気候が良い
- ・ 気候風土が温暖で住みやすい
- ・ 台風がめったに来ない

### ● 共生・共存

- ・ 海と山の共存

- ・ 自然や緑の残る、村と町の共生
- ・ 海と緑と山
- その他
  - ・ 太陽と潮騒（潮風）のまち
  - ・ せっかく良い自然環境を持っているのに活かしていない

-----

表題：[mirai2011:75]<進行> 藤沢らしさ～6. 産業

日時：2009/11/06(金) 01:37:22

続いて、すでにご関心も寄せられている、産業についてです。

-----

## 6 産業

- 第一次産業と藤沢ブランド
  - ・ 野菜が美味しい。「湘南野菜」
  - ・ 「藤稔」ほか果物
  - ・ 「みやじ豚」「高座豚」などの豚肉
  - ・ しらす、生しらす
  - ・ たたみいわし
  - ・ もっと藤沢ブランドや名産品が欲しい。少ない。
  - ・ 片瀬漁港の朝市
  - ・ 長後の果樹園
  - ・ 北部には、美味しいもの（果物、野菜）がいっぱい。山梨に負けるな！
- 農業の現状
  - ・ 農業は採算・後継者難、遊休地多い
  - ・ 農業も、知的に行っている（若い世代）農家の人もインテリ
  - ・ 土地多く、発展可能性大
- 地産地消
  - ・ 北の果樹園、梨・ぶどうは意外に知られていない。市民も知らない
  - ・ 北部の人は生しらすを知らない。食べる機会もない。
  - ・ 地産地消が浸透していない。市民にもっと PR すべき  
(JA 寒川の「わいわい市」などを手本に)
  - ・ 地場産のものが買づらい
- 工業、企業立地
  - ・ 大企業撤退、税収入減という現状！
  - ・ 武田↓ 松下↓（下がっている）
- 産業全般・多様性
  - ・ 魚と大根の町
  - ・ 観光業中心の南部に対し、北には農業・工業の中心がある

- ・ 海のもの・果物・野菜など食べ物に恵まれている
- ・ 農業・商業・漁業・畜産がみな盛ん
- その他
- ・ 特徴的なおみやげがない
- ・ 農業や漁業が充実しているという意味で田舎？

---

表題：[mirai2011:81]Re: <進行> 藤沢らしさ～6. 産業

日時：2009/11/07(土) 00:46:34

産業ですか。

企業の不祥事で全国的に有名に。藤沢のマイナス面ばかり書いて申し訳無いんですが、ダイオキシン問題、偽装コンクリートの問題、ついでに言えば、耐震偽装マンションも藤沢にあって、企業の不祥事、で有名になってしまった藤沢市ですね。企業の方には、今後は、良い事で有名になるようにがんばってもらいたいものです。まさか、藤沢だけが市役所の企業へのチェックが甘かった、なんて事は無いとは思いますが、市役所もがんばって欲しいものです。建設業やパチンコ業も強いんじゃないですか？

- > ● 産業全般・多様性
- > ・ 魚と大根の町
- > ・ 観光業中心の南部に対し、北には農業・工業の中心がある
- > ・ 海のもの・果物・野菜など食べ物に恵まれている
- > ・ 農業・商業・漁業・畜産がみな盛ん

と書いてあるんですけど、マンション建設やパチンコ店建設が、住民が反対しても止めようが無い、という意味で、これらの業界が強い影響力を持つ藤沢市、という印象も持っていますが、書いて無いですね。

---

表題：[mirai2011:83]Re: <進行> 藤沢らしさ～6. 産業

日時：2009/11/07(土) 11:09:14

- > ダイオキシン問題、偽装コンクリートの問題、
- > ついでに言えば、耐震偽装マンションも藤沢にあって、
- > 企業の不祥事、で有名になってしまった藤沢市ですね。
- > 企業の方には、今後は、
- > 良い事で有名になるようにがんばってもらいたいものです。

同感です。偽装マンションは、たまたまなのでしょうけれど、偽装コンクリート（偽装と言ってもこちらは JIS の認定偽装で強度には問題がなかったのですが）ダイオキシンは市内の企業が起こした問題でした。

- > 建設業やパチンコ業も強いんじゃないですか？

企業はいわゆる地元企業と地元外企業に分けられるのですが、藤沢は地元の企業がまだまだ弱いんです。マンション建設にかかわるのほとんどが地元外の企業、せいぜい孫受

けくらいで地元企業が安く使われているかもしれませんが。同様にパチンコ産業も地元企業がかかわることは少ないです。そういう意味では、外食産業もそうだし、シークロスの建設でも地元企業がかかわっているのは一部でしかないかもしれません。

私が所属している商工会議所からは昨年度「建設業の地産池消」を提言していますが、建設だけでなく市内の産業に多くの市内企業がかかわれるチャンスが必要だと思います。そうしないと、ますます市内の就労率が低くなってしまいます。

- ＞ マンション建設やパチンコ店建設が、
- ＞ 住民が反対しても止めようが無い、という意味で、
- ＞ これらの業界が強い影響力を持つ藤沢市、
- ＞ という印象も持っていますが、書いて無いですね。

これは都市計画法など法律に抵触することは書けないからかも知れませんね。藤沢市では今年度から、「藤沢市特定開発事業等に係る手続及び基準に関する条例」が施行されました。この中では近隣住民は条例に基づき計画に対して「要望書」を出せるようになりました。今までとは違って、説明会や要望書が条例として位置づけられたのは一步前進だと思います。地元建設関連業界ではこうした条例の施行に反対の声はありません。(不動産業界には一部反対の声もあったようですが)今までトラブルを起こして建設業に悪者のイメージを与えているのは市外の特に大手の企業が多かったのですから。でも最終的には法律に抵触していないものは建設される可能性は残っています。そのためにも、都市マスや総合計画のなかで「藤沢市はこういう街を目指している」ということを明確にしていき、たとえばパチンコ屋が進出しにくい雰囲気を作っていくことが大切なのでしょね。

---

表題：[mirai2011:84]都市計画からという発想もいいですね

日時：2009/11/08(日) 01:07:13

違法建築や街の美観を条例だけでなく、街全体を考える中で決めていくとか住民全体のコンセンサスにしていくということができるといいですね。そのためにも、市民が気軽に話し合えて、情報交換できる仕組みも必要ですね。市役所の方にも、市民の目線で問題がないかどうかをしっかりとチェックして欲しいし、正しい運用がされているということを市民も監査するという意識を持たないといけないなと思います。

---

表題：[mirai2011:87]都市マスタープランと並行して行われるんですね。

日時：2009/11/08(日) 23:27:25

ご意見ありがとうございました。新しい条例のお話など、参考になりました。パチンコ店建設もマンション建設も、禁止とは思いませんが、どこにどれだけのものを造っていいのか、というのは、歯止めがあるべきと思うんです。その歯止めを決める権限は、市には無く、国か県が握っているが、総合計画や都市マス、が影響する、という理解でよろしいでしょうか？都市マス、というのは、都市マスタープランの事ですね。都市マ

スタープラン策定協議会の

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/tosi/page100125.shtml>

から、議事概要を少し見ましたが、市のあらゆる事について議論されていて、今のところ総合計画についての議論の内容と近いですね。つまり、総合計画の策定は、都市マスタープランの策定と並行して行われるんですね。今日配られた広報を見ますと、都市マスは13地区で意見交換会を行うんですね。これも、仕方ないかもしれないですがメンバーが偏っているような気がするので、大いに市民の意見を参考にしてもらいたいです。

-----  
表題：[mirai2011:76]<進行> 藤沢らしさ～7. 医療・福祉

日時：2009/11/06(金) 01:40:43

続いて、医療・福祉です。分量の割合としては意見が少ないようにも見えますが、まちのテーマとしては重要なはずですが、あまり勝手なことはいえませんが、藤沢の「らしさ」としては挙がってきにくい、というのが一つの現状なのかもしれません。いかがでしょうか。

-----  
7 医療・福祉

● 医療

- ・ かかりつけの医者がほしいが身近にない
- ・ セカンドオピニオンの役目医師が少なく、将来が不安
- ・ 病院が充実しており、老後も安心
- ・ 頼れる病院がない

● 家庭・子ども

- ・ 家庭が安定している
- ・ 国内でも藤沢での女性は恵まれているほうだ
- ・ 子育て支援一産婦人科、小児科少ない。病院の問題
- ・ 子どもの数が平均 1人以上
- ・ 将来、子どもも住まわせたい
- ・ (子育ての) 受け入れ態勢あり
- ・ 年よりも子供も

-----  
表題：[mirai2011:82]Re: <進行> 藤沢らしさ～7. 医療・福祉

日時：2009/11/07(土) 01:39:24

医療ですか。

- ・ 全市的に満員の医療機関?
- ・ カゼ気味のときとか、私は辻堂にある大病院に行ってますが、2時間待ちは普通で、半日つぶれますね。湘南台に住んでいた数年前、かかりつけの内科医院も、そんな感じでした。全市的に満員、の医療機関かもしれませ

ん。

家庭・子どもですか。

・横浜市では地区センターに乳幼児が遊ぶスペースがある。

私は、嫁探しや子作りどころじゃなくて、自分の生活で精一杯ですが、私は、横浜近辺を歩く仕事をしているんです。それで、横浜市の地区センターなどにたまに寄るんですが、そこで気づいたんですが、横浜市の地区センターはほとんど小さな子供が遊べるスペースが設置されているんですね。だいたい、学校の教室の半分ぐらいの広さですか、そこに、お母さんと乳幼児が、遊ぶスペースがあるんです。これが良いものか悪いものか、子供の居ない私にはわかりませんが、覗くと、結構利用されていますね。

-----  
表題：[mirai2011:93] 藤沢らしさ～7. 医療・福祉 2039 年の藤沢一障害を持った人たちは。

日時：2009/11/14(土) 23:20:55

藤沢のお若いみなさん、こんにちわ。私は今年で92歳になりましてね、藤沢に住んでもう64年ですかねえ。67歳になる知的障害と身体障害をもった息子がいるんですよ。息子は藤沢で育ちましたがあのころは近所の幼稚園も入園を断られてねえ。小学校も地域の子供と一緒に入学できずに障害の子ばかりを集めた養護学校というところにスクールバスで通っていたんですよ。今の人たちは養護学校ってお分かりにならないでしょうけどね、遠くまで大変でしたよ。今では障害があっても近所の子と一緒に同じ門をくぐって通えるそうがいいですねえ。お昼休みは一緒に校庭で遊んでるんですってね、障害があってもなくても、同じ藤沢の子。小さい時から一緒に通っていれば、お互いにわかりあえるし、わざわざボランティアなんて授業で習わなくとも、普通にできますものね、困った人がいたら手伝ってあげればいだけ。

そうそう、思い出しましたよ。もう67年前のことだけど、息子が生まれた時、この子は障害が重いので将来深刻ですよと病院で言われてね、私が死んだらどうなるんだろう、息子のために長生きしなきゃと真剣に悩んでいつも頭から離れませんでしたよ。今は「藤沢市民ですから藤沢でお世話します、安心してください」と行政が言ってくれて高等学校を出たら親元を離れてグループホームなどで下宿生活するんだとか。

私のころはいつまでも親子べったりだったけど、大人になるというのは親の巣から出ていくことですものねえ、親も子もつかず離れずでそれぞれが自立できてるというのはお互いにいいですねえ。今の人は幸せ！どこかのおうちに障害を持った赤ちゃんが生まれても、若いご両親は育児を楽しんでるとか。

時々パパとママで映画に行ったり食事に出かけたり、他の兄弟を連れて遊びに行ったりも気軽にできるんですってねえ。パパもママも、元気をもらってリフレッシュしてまた赤ちゃん向き合えるので赤ちゃんとおつきあいができるんだとか。いい時代になったわね。病院の通院も大変だけど、予約を入れれば待ち時間もほとんどなく診てもらえるんでしょ、コンピューターで管理できてるってすごいですね。待つのもひ



と仕事だったわねえ、昔は。それに障害を持った子を見てくれるところが地域にあるのはほんと、何より。ママが美容院に行ったり病院に行ったり兄弟の参観日に行ったりも気兼ねなくお願いできる場所があるんですものねえ。たまにはお友達とお茶もできるし、、、。え？おけいこごとにも通ってるとか？子育て中のママたちも、預けてるとか。いいじゃないですか、子供は子供同士。一緒に遊べば、いたわりあうことも助け合うこともお互いに学んでいくしねえ。昔はねえ、学校でイジメとか言うのがあったんですよ。子供同士の喧嘩はいいんですよ、でも一人の子をみんなでいじめるっていうのはいけないわ。それもちょっとハンディがある子とか、弱い子をいじめるなんて、ひきょう者ですよ。いろんな子がいて、ちょっと違う子も居て、みんなちがってみんないい。そうじゃないとね。

私も、長生きしたおかげでこうして福祉マンションに住んで、時々息子のケアホームに会いに行って一緒に食事したりしてるんですよ、えっ、遠くに居るんですかって？いえいえ、同じ福祉マンションの3階に居てね、私は15階ですからエレベーターですよ。1階のホールに行けばいろんな人がお茶したりお話ししてるから、おしゃべりも楽しいんですよ。藤沢はいい街なこと。私が若いころは、バリアフリーマップなんてのがあったけど、今じゃあいらないですもんね。車椅子でどこでも自由自在。長生きはするもんですねえ。ホホホ。おあとがよろしいようで。

---

表題：[mirai2011:77]<進行> 藤沢らしさ～8. 交通

日時：2009/11/06(金) 01:43:12

続いて、交通に関して出されていた意見です。

---

## 8 交通

- ・ バス・地下鉄は頓挫したが見直しし成功へ。
- ・ 駅の位置が悪い、駅が小さい
- ・ 駅の数が多く住みやすい
- ・ 乗り換え駅
- ・ 地の利や交通の便がいい
- ・ 道が整備されてない。道が狭い。
- ・ 北と南が駅などで分断されている

---

表題：[mirai2011:78]<進行> 藤沢らしさ～9. 文化・歴史

日時：2009/11/06(金) 01:46:24

文化や歴史についての意見です。“混在”のところでも話題に出ていましたが、新しいものと古い伝統が両方存在している（仲良く、という言葉で書いてありました）、という姿があるようです。いかがでしょう。

## 9 文化・歴史

- ・ 感性を活かせるまち
- ・ ハイセンスな文化・文化の香り・文化的な良さがあるまち
- ・ 博物館や美術館がない
- ・ 旧別荘地の景観（松林）
- ・ 新しいものと古い伝統がともに仲良く
- ・ 昔ながらの歴史・伝統がある
- ・ 宿場町・門前町としての発展

---

表題：[mirai2011:79]<進行> 藤沢らしさ～10. 安全・安心

日時：2009/11/06(金) 01:51:21

最後になりましたが、安全・安心に関するものです。良い意味での「安全・安心」が、まちの「らしさ」になるまちがあるとしたら、すごいことだなあとと思います。藤沢は、将来的にそのような姿を実現できるだろうか？安全・安心といっても、防災、防犯だけではなく、先ほどの福祉や、産業、雇用、交通、などなど、多岐にわたる関係性を持つテーマでもあると思います。

---

### 10 安全・安心

- ・ 安全な町、安心な町
- ・ 災害に強い⇔災害に弱い
- ・ 災害は少ない方。恵まれている。台風がめったに来ない。
- ・ 水害が心配

---

表題：[mirai2011:92]安全・安心第一なら、武田薬品研究所の誘致は中止を

日時：2009/11/09(月) 23:21:22

### 10 安全・安心ですか。

安全・安心第一なら武田薬品研究所の誘致は中止をしてほしいですね。内部構造や何を使った実験なのか、という事は企業秘密という事であまり知らされず、たとえばその毎時800万立方メートルという膨大な排気は、100メートル四方の巨大なサイコロ状の大きさの大気が1時間あたり8個ずつ出てくる、という事になり、風があまり吹かなければ、その周辺の大気は、この排気、だけになってしまう事も考えられますね。もちろん、P3レベル実験室から出る排気は、高度なフィルターで濾している、という事だが、それがちゃんと機能しているか？外部が抜き打ちで検査するという事でも事でもないらしいし、その排気は建物の外に強制排気される。出た後はチェックできず、周辺住民の家々のすみずみに入りこみ、目の前の線路を、通勤などで通過する電車に毎日乗る人も、毎日微量ずつ吸う事を強られる事が、今後何10年も続くのです。もしもこのまま、誘致を止められないとすると、この研究所の危険性は、まさに藤沢の未来

課題、となるんでしょう。周辺住民なり市役所なりが、疑わしい事があったから、何の実験をしたのか詳しく教えろ、中を調査させろ、と言っても、企業秘密だから教えない、入れない、という問題や、それ以前に、誘致した市の側が、強い姿勢など取れるのか、という問題、などが、今後の藤沢市の未来課題、となっていく危険性があるような気がします。

=====

表題：[mirai2011:47]<進行> 藤沢らしさをテーマごとに考えてみる

日時：2009/10/31(土) 22:21:27

「海を通年のリゾートに」、いいですね！地域経営戦略100人委員会でも「藤沢、夏だけ！」のような発言がありました。言葉は違いますが、同じ思いの方がいらっしゃると思いますよ。

さて、「藤沢らしさ」をテーマごとに四つのスレッドを立てて進んでいます。

1. 全体
2. 13地区の様子
3. 人・生活・行政
4. 観光・“湘南”

「藤沢らしさ・未来課題」についてまとまった考え方を持たれていて、整理された発言もありました。「藤沢の良い点・悪い点」のように、日常生活の中からの発言もありました。どちらのアプローチでも大歓迎です。「藤沢らしさ」は幅広いテーマなので、まとめるのに時間がかかり発言を足踏みする方がいるとすれば、ご心配なく！気付いたことを発言してください。同じような発言がされているから、止めておこう！なんて思わないでください。言葉は同じでも主旨は違うかも知れませんよ。どうぞ遠慮しないで発言してください。どなたかの発言を読んで別なアイデアが出てきた！のような便乗も大歓迎です。皆様の発言が集約されて藤沢の未来地図が描かれるわけですから、多の方に多く発言していただくことが大切だと思っています。

この辺で、経営企画課から何か面白そうなホットな話題、くだけて言うと苦労話などあれば紹介していただければと思います。宜しくお願いします。

=====

表題：[mirai2011:52]第3回100人委員会を傍聴した感想

日時：2009/11/01(日) 20:02:00

今日、明治市民センターの体育館で行われた、第3回藤沢市地域経営戦略100人委員会を、傍聴してきました。ホームページには2時からと書いてあったのですが、30分前に始まっていたようです。厚さ1センチを超える分厚い資料を頂き、傍聴席に座ると、委員は200人近く居たでしょうか。前回までの議事概要で読めるのと同じく、今回もコーディネーターと市の幹部の話が長いのですが、今日は委員が発言する時間があつ

たようです。なぜワールドカフェという形態にしたのか、最初からルールが敷いてあるようでは、という委員の問いには、それ以外では1年半でまとめるのは難しい、という回答だっと思ひます。基本構想についての説明無しに、基本計画づくりに行くのはおかしい、という問いには、試行錯誤しなければ出来ない事もある、という感じの回答だったか。なぜ急ぐのか、なぜこの形にしたのか、必然性はあるのか、ちょっと私には疑問は沸き、このまま進めるにしても市民が注視していくべき事と思ひました。後半は、各テーブルに分かれた委員達が、議論していましたが、残念ながらちょっと傍聴席からはわかりませんでした。今後、各委員が生活実感や活動実感について、市民からも、集めていく、という事らしいです。市民から意見を聞く事は結構です。しかし、1、委員が市民のさまざまな意見からどの意見を取り上げるか判断する事、2、委員が意見を問える市民は、委員と近い関係の人や知り合いなど、委員と価値観が近い立場の割合が高くなってしまふおそれがある事、3、委員が無差別にアンケートを撒くとしても、委員は地位のある方が多いし、委員に回答するのは、委員と立場関係や信頼関係がある人の割合が高くなる可能性がある事、などの疑問も浮かび、市民から意見を聞いたからといって、100人委員会の意見だけをもって市民の意見とされないよう、これも市民が注視していくべき事、と付け加えたいと思ひます。

=====

表題：[mirai2011:58]09N02 藤沢の未来-1

日時：2009/11/02(月) 20:10:17

以前、市民エリアに投稿しましたが、再度記します。4回に分けて送ります。

#### 10年先のスマイルシティ辻堂-1

私は、10年先の辻堂は「住居、育児、教育、職場、生活、老後の環境」一体の「複合コミュニティ施設」を持続可能な街（サスティナブル）あり続けるため、まちと建築のデザインがダイナミックに変わることが出来るシステムになっていると思ふ。スマイルシティ辻堂（持続可能なコミュニティ）は、藤沢市鵠沼（景観）、藤沢宿（歴史）を結ぶトライアングルの環境整備について、物語風に「近い将来の姿」を想像してみます。

今日はアメリカより江の島観光の50人が来日する日だ。午前10時成田空港より連絡が入り、30分後へりより連絡、スマイルシティ辻堂の上空に到着、一行は無事にホテルに到着。「これからが忙しくなるなー」支配人のクンちゃんは車椅子でスタッフの待つホールに向かった。今では車椅子専用と歩道が整備され、遊行寺、藤沢宿、辻堂までの東海道、江の島めぐりのコースは人気ベストワンになっている。案内役のリーダーのゲンちゃんは車椅子のベテランであり、この高性能ITシステム満載の機器を使い、スタッフを指揮して、世界中から集まった第一陣の約100人の参加者に笑顔を振りまいている。

「さーあ、出発！！スマイルシティ辻堂の国際ホテル「ステイ」から走りだした。一行を見送ってから、「藤沢宿道の駅」とIT連絡を取る。丁度、昼ごはんの時間に到着する一行のために休憩室を確保するためである。支配人の携帯モニターにはすべての情

報がオンタイムで送られてくる。この「道の駅」に併設の大型の駐輪場には共用の「車椅子、自転車（電動もある）があり、何処の「道の駅」で乗り捨てても良いように IT で管理されている。今でも残る松並木を通り「藤沢宿・道の駅」へ向かう。車椅子にはカーナビが搭載されているし、小型イヤホンからは周辺の情報が入ってくる。道路に埋め込まれた IC チップが誘導する。道路は完備し通行に支障は無い。最後は江の島の弁財天である。かなりの険しい坂道階段もこの高性能 IT システム満載の機器の敵ではない。

-----  
表題：[mirai2011:59]Re: 09N02 藤沢の未来-2

日時：2009/11/02(月) 20:14:49

以前、市民エリアに投稿しましたが、再度記します。 ちょっと長いですが4つに分けて送ります。

#### 10年先のスマイルシティ辻堂-2

「辻堂ステイホテル」では今晚開かれる国際会議の準備で忙しい。大スクリーンにはツアーの情景が写し出されている。国際同時通訳、国際要約筆記のためのボランティアなどがそれぞれ準備にかかっている。江の島は景観三法のモデルとして保護されている。景観を破壊しないよう緑と景観は育てられている。一行はその状況を観察して、大型のフェリーで車椅子ごと鵜沼ハーバーに到着。報告は船上でボランティアも加わり IT 機器で画像が整理され纏められていた。スマイルシティ辻堂は大きな工場の跡地でした。工場の移転に伴い、跡地利用について2年間、対話による話し合いが連日続き、基本コンセプトは、皆が「生きがい」を感じられることを前提に

- ・ 経済効果のある持続可能な街づくり
- ・ 周辺を含めたユニバーサルデザイン?車と人と自転車は分離（人は空中廊下）具体的な経済効果とは
- ・ 東海道の藤沢宿、鎌倉街道、江の島道、大山道）を中心とした国際観光
- ・ 高齢者の知の全てを集めた頭脳による研究開発
- ・ 障害者が安心して働ける仕事の集積。
- ・ ありとあらゆる福祉機器（義眼鼻耳、義手、義足、義皮など）製造工場の集約。

具体的な経済効果と呼び起こす「高齢者の知の全てを集めた頭脳による研究開発」のプロジェクトが動き出し、第一期生が多くの希望者を全員受け入れる三つの円形研究開発棟が建設中である。今日は初めて鵜沼・辻堂の海岸より江の島へ向かっての船出の日だ。今まで幾度も練習したんだから、アイちゃんは自信を持ったと思う。湘南工科大学のボランティアのお兄さんともぴったりと息があって」と「障害者が安心して働けるセンター」の大橋代表（SIT元教授）は独り言を言いながら屋上から江の島方面を見ていた。辻堂海浜公園で湘南工科大学グループが開発した障害者向けのカヌーの試乗会（2004・10・7）から12年が経過していた。

---

表題：[mirai2011:60]09N02-3 藤沢の未来-3

日時：2009/11/02(月) 20:17:57

以前、市民エリアに投稿しましたが、再度記します。 ちょっと長いですが4つに分けて送ります。

#### 10年先のスマイルシティ辻堂-3

お母さん！ 駅前のホテルの支配人になったんだ！ 本当？クンちゃん？夢がかなってよかったわね！！実はね、クンちゃん、お母さん黙っていたけど、ホテルの中にあるパン屋さんにパートで行くことに決まりそうなのよ！おじいちゃんは自慢のIT技術を武器に道の駅の専属アドバイザーに応募したらしいわよ。早速お祝いしましょう！お父さんも今日は湘南工科大学から早く帰るといっていたから。その晩、お父さんから、ホテルの並びに「知的戦略センター」の計画があり、その準備委員になったんだ。増え続ける高齢者がその経験と能力を生かして生きがいを持ち続ける施設なんだよ。なんだか難しそうねとお母さんは言いながら、そういえば、ホテルの屋上のヘリポートの完成披露が行われるそうよ。成田空港や羽田空港から大型高速ヘリコプターが一日に何回も往復して、世界中の観光客が大勢、ここにくるようよ！ところでクンちゃん、車椅子で大丈夫なの？大丈夫だよ、お客さんの大半が海外の車椅子の人だし、外国ではハンディキャップの人に対する対応はごく普通なことなんだよ。それに、考えられないような高性能な機器を備えていて動く司令塔になれるんだ。

それより、おじいちゃんは耳が少し遠いけど観光案内できるのかなあ？大丈夫だよ。いま、大学で、高性能な補聴器が開発されていて、翻訳システムも組み込まれているんだよ。このように話が進んでいるのは辻堂北口の再開発で整備が完了した住居地域に住むクンちゃん一家である。

---

表題：[mirai2011:61]09N02-4 藤沢の未来-4

日時：2009/11/02(月) 20:24:59

以前、市民エリアに投稿しましたが、再度記します。 ちょっと長いですが4つに分けて送ります。

#### 10年先のスマイルシティ辻堂-4

この街では居住者全員が、目が見えない、ミミが聞こえない、足が不自由という前提で作られています。世界中から福祉を見学にくるのですから、こっちは大丈夫だけど、あっちは駄目だなんて言ってられませんよ。

コンチャンは福祉と観光の街のいろんな福祉機器のモニター請負のNPOの代表理事の一人です。福祉と観光の街にいいよ福祉機器の製作工場の一号が立ち上がります。個人の状況にあわせた、高機能対応車椅子の製作を行います。もちろん、産官学(SIT)協同です。コンチャンはその高機能対応車椅子のモニターの責任者となりました。目が見えなくて、耳も聞こえない。だけど足腰手はしっかりしている。人用の歩行補助機な

どは、多くのメンバーで試乗し、テストを繰り返します。福祉と観光の街の福祉機器はかならず、このNPOの確認が必要になります。今では、世界中の福祉機器の試作用から実用までのモニター依頼が殺到しています。福祉の街ではその需要に対応する方々を家族ともども募集を始めました。クンちゃん、ケンちゃんに負けずに頑張っています。湘南工科大でクンちゃんの待ちに待った夢の電動車いすの完成一歩手前の状況を見てきました。音声指令で車椅子が動くのです。「止まれ」「進め」「ちょっと右」など完成まじかです。湘南シークロス内の道路は、空中通路を予算に合わせて順次設置されています。この湘南シークロスは、あらゆる市民が生きがいを持って居住し、働くことが出来てユニバーサルなサービスを受けられる街として位置づけられています。

財政基盤を固めるために高齢者・ハンディキャップ者がこの湘南シークロスの視察と周辺の観光に集まってくるような福祉と観光の街に育っている。

ライフサイクルを取り入れた「住居、育児、教育、職場、生活、老後の環境」一体の「複合コミュニティ施設」を持続可能な街（サステイナブル）であり続けるため、まちと建築のデザインがダイナミックに変わることが出来るシステムになっていると思います。 以上

---

表題：[mirai2011:68]具体的な物語ですね！

日時：2009/11/03(火) 01:04:32

物語風に具体的なイメージがわく未来像ですね。福祉がメインテーマということでしょうか。「日本で一番大切にしたい会社」という本に障害者のための義手などを作る会社が地方でがんばっているという話がありましたが、そういう特殊な産業の集積をするというのも、他地域と違う特色をだすのにいいかもしれませんね。しかも、これから必ず求められるものであるなら、やりがいとか使命感にもつながっているのではないのでしょうか。

---

表題：[mirai2011:69]09N03Re: 具体的な物語ですね！

日時：2009/11/03(火) 08:48:45

お読みいただき光栄です。

先日、100人委員会というのがありまして、“気づき”ゲームがありました。気付いたことを描いていくということです。たくさん集めて何か浮かび上がらせようというものらしいです。言葉だけでなく、イメージを伝えるというのも“あり”と思って描いてみました。なにかやろうとおもっても資金が必要です。税金、募金、企業の援助にたよることなく、自立出来る藤沢市が目的です。

---

表題：[mirai2011:72]<進行> 新たな方の発言を求めて、つぶやき発言

日時：2009/11/05(木) 13:58:46

総論、各論等々いろいろな話が弾んでいますね！今週もどしどし発言をお願いします。

「藤沢の未来」発言、身近に感じられていいですね！その発言に勢いをもらって、今まで発言された方々はもちろんこと、新しい方にも発言をしていただきたいと思い、つぶやきです。長い間生活をしていると世の中の流れが少し見えて来る。世の中は理想郷を目指し、住民を巻き込んで壮大な実験を繰り返している。でも、実験の答えは見つかったようで見つかっていない。今までの実験では、どちらかと言えばお膳立てされた仕組みの上を住民は歩いてきた。実験の結果は思い描いたようにはいかず、影響を被るのはいつも住民。いままでの仕組みで行うことに限界がある。ならばどのように変えていこうか。お膳立てされた仕組みから降りて、住民が自らシナリオを描いて、その上を歩いてみようか。そこにいくまで試行錯誤の繰り返しになるだろう。それでも変えた方がいいと思う。試行錯誤があっても、止まっているより動いて、一步前に進んだ方がいいと思う。悪いところは直しながら進めばいいのだから。

最近、世の中を見据える時間が出来たせいか、そんな風に考えるようになりました。

夫々考え方をお持ちだと思いますが、住民が自らシナリオを描くために、一言声を上げることが大切だと思います。この会議室はその声が市政に届く仕組みになっています。発言しようか、止めておこうか、迷っていないで発言をお願いします。

☆新しい方の発言もお待ちしていますよ～。

☆13地区、夫々からの発言があると話の幅が広がって嬉しいですね～。

☆市の担当者の方も気軽に会議室に参加してくれるといいですね～。

=====

表題：[mirai2011:73]藤沢らしさ～～

日時：2009/11/05(木) 18:06:16

新しい人でなくてごめんなさい。

藤沢らしさ。つまり、藤沢の強みを明らかにしようという試みですね。最近、システム開発するときにも SWOT 分析の情報等をもとに、システムが期待される役割にぶれないような作り方が求められています。(SWOT 分析に付いてはこちらを参照)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/SWOT%E5%88%86%E6%9E%90>

SFC ができたころは、情報系の教授や学生がいたので、藤沢は情報に強いところという新しい強みをもてましたが、今の SFC は情報よりもデザインにシフトしているので、そろそろ SFC 依存の脱却と、藤沢市自身の情報処理能力が必要かなと思っています。システムを作っている方はとても優秀な方がそろっていることは以前、アンケートのシステムを利用させていただいてわかっているつもりですが図書館や公共の場所で無線 LAN サービスとはいわないまでもインターネットを利用できない状況を見てみると、ブレインが存在しないことが見て取れるのが悲しい限りです。ブレインをアウトソースしない藤沢市になるにはどうしたらいいですかね？

-----

表題：[mirai2011:85]ブレインをアウトソースしないためには

日時：2009/11/08(日) 01:21:19



よろしく申し上げます。

ブレインをアウトソースしないためには・・・ というのは面白い質問だと思います。単純に考えると、インソースで賄えるようにするということですが、市役所自身や地元企業にその力がないのかどうか？求めれば、応えてくれる企業があるかもしれませんし、企業でなくても個人でよければ、電子会議室などで話題にすることで、アイデアを出し合うことも可能だと思います。藤沢住民で東京や横浜の企業に勤めている人が多いようなので、個人としてノウハウをお持ちの方やノウハウのある会社で勤めている人も必ずいると思います。個人的にも100人の専門家を知り合いとして持つということを目指したいと思っています。自分も「幸せになる生き方、コミュニケーションの仕方」を得意分野にすべく努力しています。

-----  
表題：[mirai2011:88]\*\* 発言者自身により削除されました \*\*

-----  
表題：[mirai2011:89]Re: ブレインをアウトソースしないためには

日時：2009/11/09(月) 19:05:02

前の発言に不適切な表現が含まれていたもので修正しました。

- ＞ 単純に考えると、インソースで賄えるようにするということですが、
- ＞ 市役所自身や地元企業にその力がないのかどうか？
- ＞ 求めれば、応えてくれる企業があるかもしれませんし、企業でなくても
- ＞ 個人でよければ、電子会議室などで話題にすることで、アイデアを出し合う
- ＞ ことも可能だと思います。

市民の集合知を、藤沢市のブレインとして動かすには、まだまだコミュニケーションの仕方とか、思考の遅さとか、そもそも母集団が少ないという問題があり、すぐに実践できる手法ではないのかなと感じています。とはいえ市民の想いが藤沢市のブレインとシンクロするのが理想の形だとは思っているので、まずは上記のような状態に持っていける政治力のある一人なり数人の委員会という存在は必要かと思います。情報系の話ばかりで申し訳ないですが、2000年近辺で、企業のIT部門をアウトソースすることが流行りました。大企業や大きな自治体では、パソコンなどのIT資産の管理を外部の会社に丸投げするような形のアウトソースがあたりまえになり、結果として現場の求めるITと提供されるITのミスマッチが多々出てきているのが今です。企業としてのセキュリティポリシーを考える力が企業になくなり個人情報流出に歯止めがかかりません。IT資産が外部の企業に管理されているため、他の会社に移行するといったコストダウンの健闘すら出来ない状態です。無駄なセキュリティルールのせいで、現場の作業効率は低下の一途です。アウトソースして良いのは、手足だけ。頭をアウトソースしたら組織は本来の目的を忘れた情報認知不全（重要な情報や要求を見落としていることに気づかない）に陥る危険性があります。

表題：[mirai2011:86]参考：ワールドカフェ ウィーク

日時：2009/11/08(日) 01:29:00

100人会議で実施されているワールドカフェというコミュニケーションの手法をより多くの方に感じてもらい、実際にディスカッションしてもらおうことができるというイベントが 11月15日から21日に東京を中心に全国各地で行われるようです。私もまだ実際に体験したことはないのですが、大変興味をもっています。ご参考まで。

<http://world-cafe.net/schedule.html>

うまく対話をするスキルや手法もありますので、リーダーは必須ですね。

=====

表題：[mirai2011:90]湘南台らしさ

日時：2009/11/09(月) 22:15:56

湘南台は、毎週のように公園を基点としてフリーマーケットが開催され、近くのお店もいっしょになって盛り上げてくれて、本当に住んでる人たちが生き生きしている街で、とっても素敵です。こんな街は、日本中でも少ないのでは？

このあいだ、慶応の学生と話をしていたら、湘南台は彼らのおしゃれスポットだそうです(笑)

-----

表題：[mirai2011:91]Re: 湘南台らしさ

日時：2009/11/09(月) 22:21:47

いいですねえ！

地下鉄に乗る時に通過していますが、まだ下車したことがないので一度行ってみたいと思います。リマとか、自由にダンスや音楽を披露できるような場所があったら面白いですね。

-----



# Fujisawa vision

## 新総合計画・基本構想策定に 当たっての基本的視点

2009年(平成21年)11月23日

# 起草部会の検討経過

- 第1回起草部会（2009年10月3日）
  - － 新総合計画の位置づけと役割について
  - － 新総合計画の全体フレームについて
- 第2回起草部会（2009年11月7日）
  - － 基本構想のフレームについて
  - － 基本構想の内容について
- 第3回起草部会（2009年11月16日）
  - － 基本構想第一次素案（部会案）について



# 新総合計画・基本構想策定に 当たっての基本的視点



# 1 前提

- 三層構造の会議体を通じて、課題（「藤沢らしさ」「藤沢の強みと弱み」「地域ごとの実感」及び「将来予測に基づく課題抽出」）をもとに基本構想を練り上げる。
- 三層構造の会議体を通じた議論のキーワードは、「私たちの政府」
- 地域経営・市民主体のまちづくりを基本構想で骨太に展開する。

## 2 起草に当たっての論点整理―①

- 新総合計画は、「行政管理をするための計画」から転換して、「地域経営・市民主体の「藤沢づくり」を推進するための計画」として位置づける。
- 新総合計画を活用する（読む）主体は、地域と市民、行政とする。
- 「何故新総合計画を策定するのか」を明らかにする。
- 新総合計画・基本構想を策定するために利用した情報、現状分析、検討のプロセスを明らかにする。

## 2 起草に当たっての論点整理―②

- 新総合計画は、藤沢の20年後（2030年）を見据え、10年後の姿を示すビジョンとする。
- 基本構想の理念などを踏まえ、基本計画、実施計画で担保するものの方向性を示す。
- 地域経営100人委員会、地域経営会議などで検討が行われている「生活課題に基づく課題整理と分析」「地域まちづくりの方向性」「目標の達成度を測る指標化」などを基本計画で担保することを明らかにする。
- 生活実感を感じ取れる「藤沢づくり」を明記する。



# 基本構想の構成・策定 スケジュール



# 基本構想の構成（第1章）

## 第1章 私たちがめざす藤沢の未来

### I. 「私たちの政府」宣言

### II. 新総合計画の枠組と基本方向

#### 2-1. 計画のフレームと構成

#### 2-2. 計画策定のプロセス

### III. 基本構想

#### 3-1. 将来像と基本理念

～ 20年後の自律と協働の姿 ～

＜地域経営を進めていくための3つの基本理念＞

#### 3-2. 「地域・市民と行政がめざす20年後の都市 ふじさわの姿」

#### 3-3. 「藤沢づくり」のめざす方向性

～ 20年後の藤沢市をめざして今から始める

「藤沢づくり」 ～

# 基本構想の構成（第2～3章）

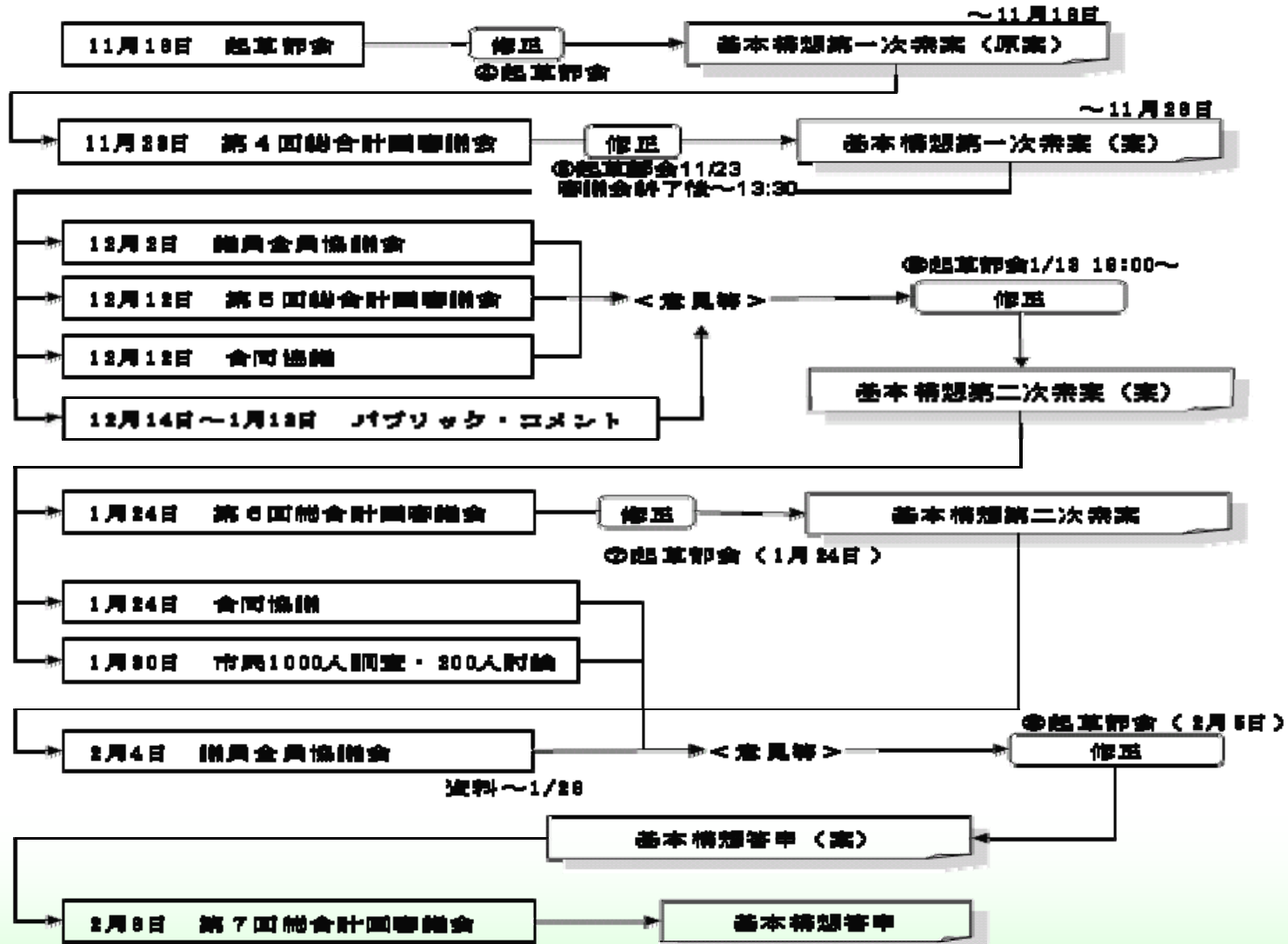
## 第2章 三層構造のプロセスから発意された「藤沢づくり」 の視点と課題

- I. 新たな「藤沢づくり」の視点と課題
  - 1-1. 新たな「藤沢づくり」の視点
  - 1-2. 新たな「藤沢づくり」の課題

## 第3章 まちづくりの沿革と取り巻く状況

- I. まちづくりの沿革と取り巻く状況
  - 1-1. 藤沢市のまちづくりと総合計画の沿革
  - 1-2. 計画策定の背景 ～藤沢を取り巻く状況～

# 基本構想の策定スケジュール



※ ④については、メールによる意見交換

## 総合計画審議会・地域経営戦略100人委員会 合同協議の進め方について (案)

2009年12月12日(土) 13:00~15:00

於 湘南台市民センター

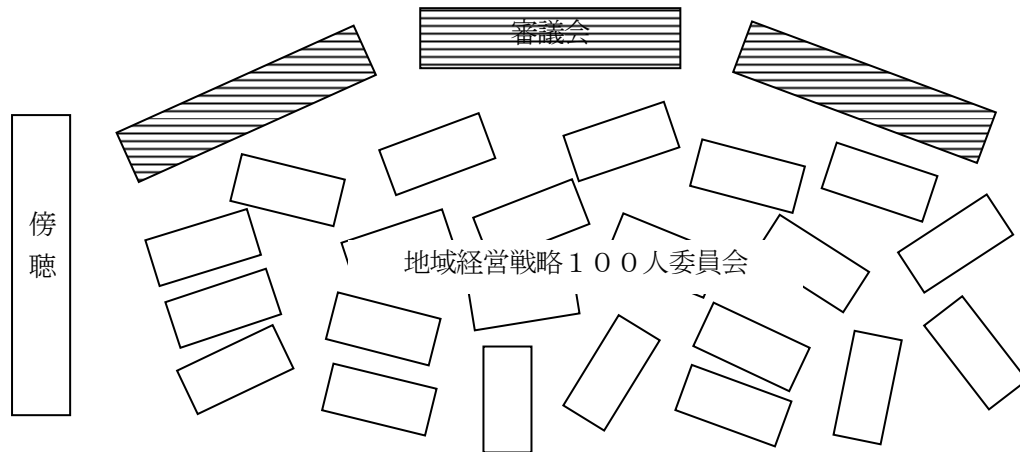
## 1 配布資料 (事前配付)

- (1) 「地域経営戦略100人委員会」・「わいわい・がやがや・わくわく会議」・「庁内新総合計画検討会議」検討経過表
- (2) 「新総合計画基本構想 (第一次素案)」
- (3) 「次第」

## 2 目的

地域経営戦略100人委員会からの「藤沢らしさ」・「生活実感からの気づき」・「地区ごとの課題」等の意見提案に基づき、総合計画審議会で練り上げた「基本構想第一次素案」について合同協議を行う。

## 3 会場レイアウト及び着席方法、職員配置等



- (1) 100人委員会の委員は、地区別・領域別でなくランダムに、1テーブル6~7人見当で着席してもらう。
- (2) 各テーブルに職員を書記として1名配置する。(意見は言わない。)

## 4 進行

- (1) 会長あいさつ (2分)
- (2) 検討経過報告及び現総合計画の評価 (事務局・3分)
- (3) 基本構想第一次素案の基本的考え方 (会長・7分)
- (4) 基本構想第一次素案の概要 (事務局・7分)
- (5) 基本構想第一次素案に基づいて100人委員会グループ協議 (グループで協議し、質問・意見・提案を、箇条書きで優先順位をつけて集約し、書記がペーパー1枚にまとめ最後に事務局へ提出・15分) ※この間審議会委員は、グループ協議の様子を見て回る。
- (6) 合同協議
  - ア グループ代表から質問・意見・提案について発表 (3分×22グループ=66分)
  - イ 審議会総括 (会長・コーディネータ・10分)